

令和5年度予防接種従事者研修会（東海北陸ブロック）

主催：公益財団法人予防接種リサーチセンター

日時：令和5年9月8日（金）13時50分～14時40分

会場：名古屋国際会議場レセプションホール

# 予防接種の知識と副反応等について

神奈川県衛生研究所

多屋 馨子（たやけいこ）

# 今日の内容

- **予防接種の知識**
- **予防接種後副反応について**
  - **新型コロナワクチン**
  - **おたふくかぜワクチン**
  - **Immunization Stress Related Response (ISRR) 予防接種ストレス関連反応**
- **風しん第5期定期接種について**

# 今日の内容

- **予防接種の知識**
- 予防接種後副反応について
  - 新型コロナワクチン
  - おたふくかぜワクチン
  - Immunization Stress Related Response (ISRR) 予防接種ストレス関連反応
- 風しん第5期定期接種について

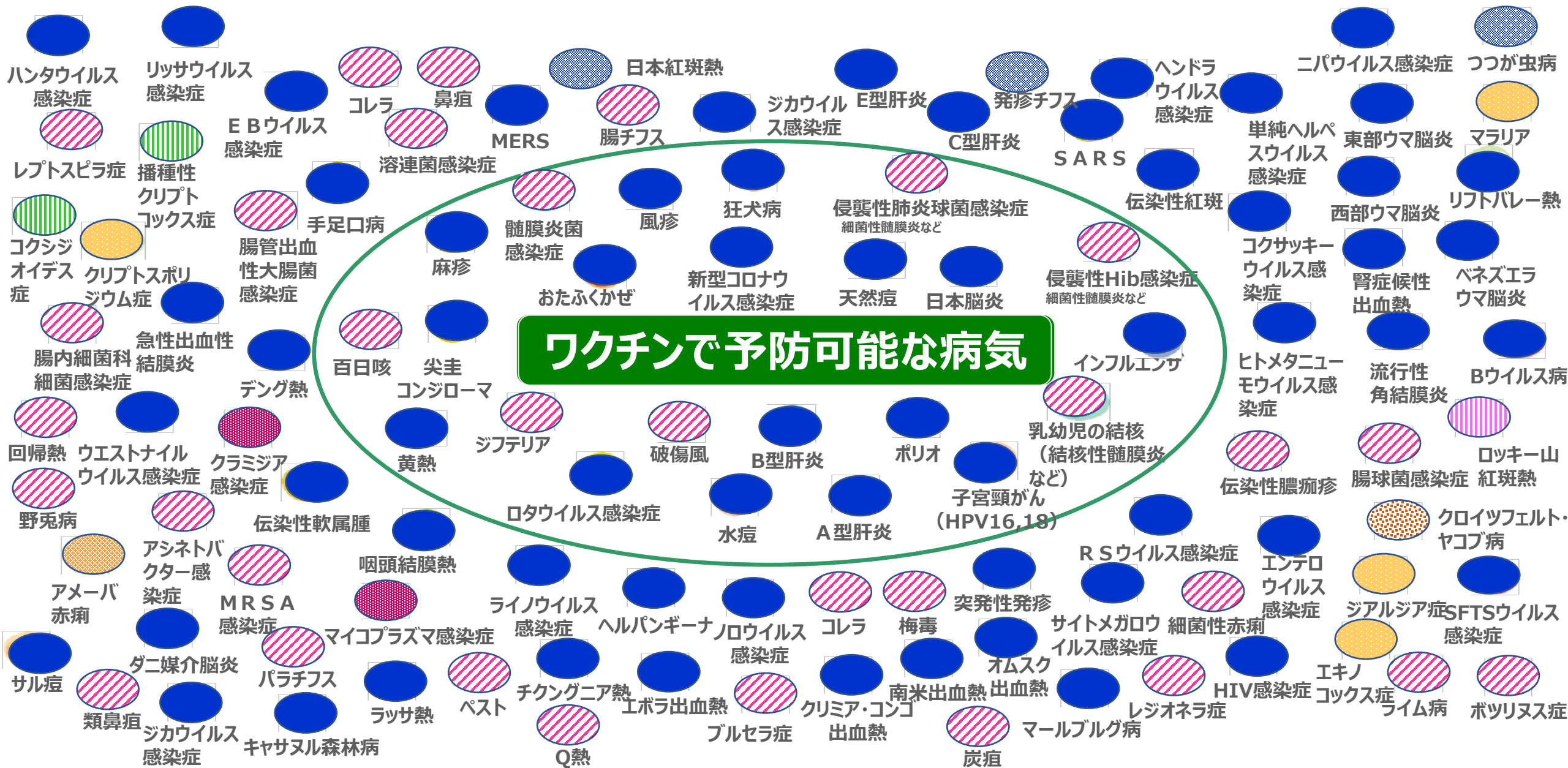
## 予防接種の意義

- 予防接種は多くの疾病の流行の防止に**大きな成果**：  
**天然痘の根絶達成**  
**ポリオ・麻疹の根絶・排除を目標に世界中が努力中**
- 感染症による**患者の発生や死亡者の大幅な減少**
- 感染症がまん延し、大きな被害を受けてきた時代は過ぎ去り、今日ではそれらの**流行が見られなくなったため、予防接種によって獲得した免疫が感染症の流行を抑制していることを忘れられてしまいがち**

# 予防接種の意義

- 予防接種により国民全体の免疫水準を維持するためには、
  - 予防接種の**接種機会の安定的確保**
  - 社会全体として一定の**接種率を確保**することが重要
- 健康な人にワクチンを接種する行為には、
  - **極めてまれではあるが重篤な健康被害が発生することがあり得る**
  - **事実について国民に正確に伝え、国民の理解を得ることが重要**

# 私たちの身の周りには多くの感染症/病気があります



# 【ワンポイント・メッセージ】

- ・ウイルスの「イ」は小さく書かないのが正式です。
  - ・ 4文字とも同じ大きさを書きます。

○ウ**イ**ルス ×ウ**ィ**ルス

# 予防接種法の目的及び予防接種の種類

- 予防接種法の目的：
  - 予防接種の実施によって感染のおそれのある疾病の発生及びまん延の予防
  - 公衆衛生の向上及び増進に寄与
  - 予防接種による健康被害の迅速な救済を図る
- 予防接種法に基づく予防接種の種類
  - 定期接種（A類疾病、B類疾病）
  - 臨時接種



## 改正後

定期接種	臨時接種		
予防接種法 第5条第1項	予防接種法 第6条第1項	予防接種法 第6条第2項	予防接種法 <b>第6条第3項</b>
平時のまん延予防 ・ A類：集団予防 ・ B類：個人予防	疾病のまん延予防上緊急の必要		<b>A類疾病のうち全国的かつ急速なまん延により国民の生命・健康に重大な影響を与える疾病のまん延予防上緊急の必要</b> ※ 新型インフルエンザ等感染症等を想定
市町村長	市町村長又は 都道府県知事  〔 都道府県知事が 市町村長に指示 〕	<b>市町村長又は 都道府県知事</b>  〔 厚労大臣が指示 〕	市町村長又は <b>都道府県知事</b>  〔 厚労大臣が指示 〕
政令	都道府県知事	<b>厚労大臣</b>	厚労大臣
<input type="radio"/> 市町村実施 A類： 地方交付税 9割 B類： 地方交付税 3割	<input type="radio"/> 都道府県実施 国 1/2 都道府県 1/2  <input type="radio"/> 市町村実施 国 1/3 都道府県 1/3 市町村 1/3	<input type="radio"/> 都道府県実施 国 1/2 都道府県 1/2  <input type="radio"/> <b>市町村実施</b> <b>国 1/2</b> <b>都道府県 1/4</b> <b>市町村 1/4</b>	国が全額
実費徴収可	自己負担なし（※1）		自己負担なし
A類： 勧奨○ 努力義務○ B類： 勧奨× 努力義務×	A類： 勧奨○（※2） 努力義務○（※2） B類： 勧奨○（※2） 努力義務○（※3）		勧奨○（※2） 努力義務○（※2）

日本の  
予防接種  
制度

## 改正後

# 予防接種とワクチン

- 予防接種に使用する**薬剤がワクチン**
- ワクチンには大きく分けて、  
**生ワクチンと不活化ワクチン**がある
- 国内で現在、使用されている**新型コロナウイルス**は、  
**不活化ワクチン**としての**組換えタンパクワクチン**  
に加えて、生ワクチンでも不活化ワクチンでもない  
**mRNAワクチン**の2種類  
**ウイルスベクターワクチン**が使われていたこともある

表1 生ワクチンと不活化ワクチンの概要

	定義と剤形	効果	副反応
<b>弱毒生ワクチン</b> 例：BCG、 麻しん、風しん、 水痘、おたふくかぜ、 ロタウイルス	病原体を継代等の方法で弱毒化して製造。 凍結か凍結乾燥して保存。 溶解・融解して使用する。 (BCGは管針法、ロタウイルスは経口、他は注射)	自然感染に近い免疫が得られ、長期にわたる効果が期待できる。液性免疫と細胞性免疫の両方が獲得できる。	もとの病原体で起こる症状（発熱、発疹など）が現われることがある。重い症状がでることは極めてまれ。一定期間の潜伏期後に発症する。
<b>不活化ワクチン</b> 例：日本脳炎、 百日せき、ポリオ、 インフルエンザ、 Hib感染症、 肺炎球菌感染症 (13価・23価)、 ヒトパピローマウ イルス感染症 <b>トキソイド</b> 例：ジフテリア、 破傷風	強毒病原体をホルマリン等で不活化して製造。 通常液状(日本脳炎は凍結乾燥)で、凍結せずに保存。すべて注射。  病原体の産生する毒素を不活化して製造。 通常液状、保存等は同上	基礎免疫として2回以上の接種と、数年毎の追加接種が必要。 効果の持続は生ワクチンに比べて短い。 液性免疫が獲得できる。	2日以内に発熱等の反応が現われることがある。 まれに、発熱に伴う痙攣や脳炎脳症が起こることがある。数日以上を経てから発症することは極めてまれ。

**(予防接種必携より)**

# 日本で接種可能なワクチンの種類 (2023年9月現在)

+ 備蓄2種類 (痘そうワクチン、A/H5N1亜型、A/H7N9亜型インフルエンザワクチン)

## 定期/臨時接種 (22種類)

## 任意接種 (11種類)

### 生 7種類

BCG (結核)
MR (麻疹風疹混合)
麻疹
風疹
水痘
ロタウイルス (1価)
ロタウイルス (5価)
B型肝炎
DT (ジフテリア・破傷風混合) :二種混合
DPT (ジフテリア・破傷風・百日咳混合) :三種混合
IPV (不活化ポリオ)
DPT-sIPV (ジフテリア・破傷風・百日咳・セービン株由来不活化ポリオ混合) :四種混合
日本脳炎 (乾燥細胞培養)
インフルエンザ
肺炎球菌 (13価結合型)
Hib (ヒブ : インフルエンザ菌b型)
HPV (ヒトパピローマウイルス) (2価)
HPV (ヒトパピローマウイルス) (4価)
HPV (ヒトパピローマウイルス) (9価)
肺炎球菌 (23価多糖体)
新型コロナ (組換えタンパクワクチン)
mRNA
新型コロナ

### 不活化 14種類

### 生 4種類

### 不活化 7種類

流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)
黄熱
带状疱疹 (現行の弱毒生水痘ワクチンを使用)
痘そう (サル痘予防)
破傷風トキソイド
成人用ジフテリアトキソイド
A型肝炎
狂犬病
髄膜炎菌 (4価結合型)
带状疱疹
肺炎球菌 (15価結合型)

定期接種を定められた年齢以外で受ける場合

# ワクチンの種類

- **ワクチンの種類**には、
  - 生ワクチン
  - 不活化ワクチン
  - mRNAワクチン
  - ウイルスベクターワクチン
- **ワクチンの接種経路**には、
  - 飲むワクチン（ロタウイルスワクチン）
  - 注射のワクチン
  - （海外では、吸うワクチン・貼るワクチンもある）
- **注射のワクチンの接種経路**には、
  - 経皮接種（BCG）
  - 皮下接種
  - 筋肉内接種



# ワクチンの接種間隔

- 注射の生ワクチン接種後、別の種類の注射の生ワクチンを受ける場合、
  - 中27日以上あける。（これ以外のワクチン同士の場合は、新型コロナワクチンを除いて、接種間隔の制限がなくなった。）
- 新型コロナワクチン接種前後は、13日以上あける（季節性インフルエンザワクチンについては、新型コロナワクチンとの間の接種間隔に制限なし）
- 同じワクチンを複数回接種する場合、ワクチン毎に、接種間隔が定められている
  - 例1：DPT-IPV（ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ）ワクチン
    - 20日以上の間隔で3回接種、3回終了後6か月以上あけて、おおむね1年後に1回追加
  - 例2：小児用肺炎球菌ワクチン
    - 27日以上の間隔で3回接種、3回終了後60日以上あけて、かつ生後12～15か月に1回追加

## 追加免疫効果

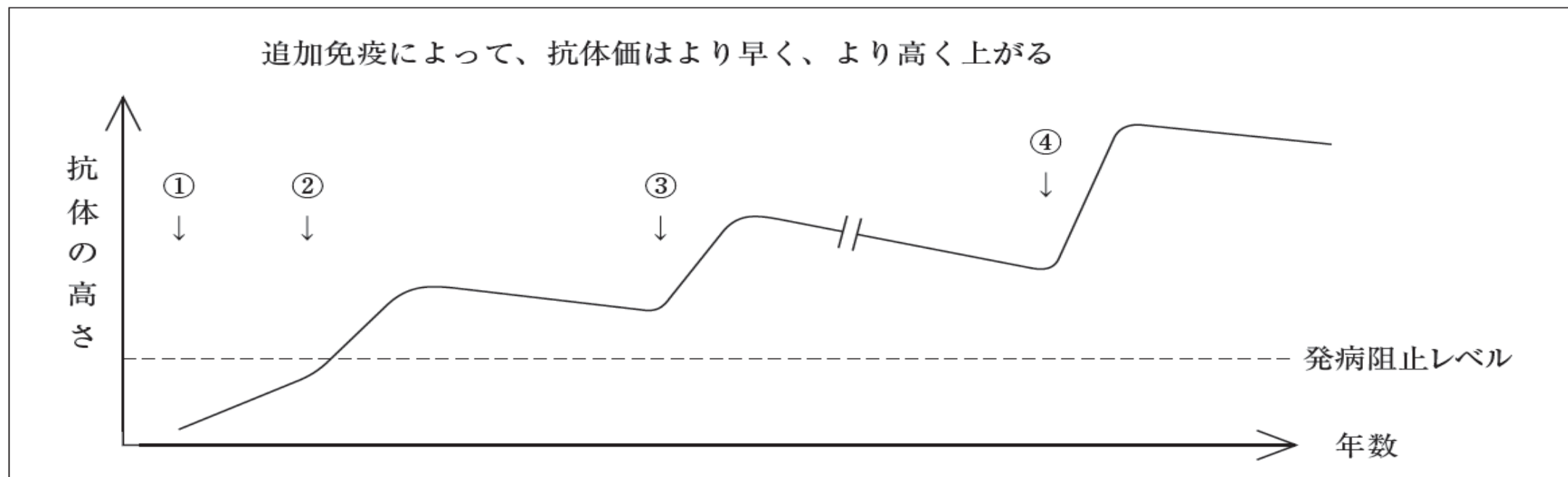
- **追加免疫（booster）効果**：再感染（再接種）を受けると、血中抗体は以前よりもより早く、より高く上がる
- **免疫学的記憶**：生体の免疫担当細胞に、出会ったことのある病原体（抗原）を記憶している能力がある
- **基礎免疫**：免疫学的記憶をきちんと付けるために、不活化ワクチンでは最初 2～3 回の接種を連続的に行う
- **追加免疫（追加接種）**：追加免疫効果を利用するために適当な間隔をおいて複数回の接種を行う。ワクチンごとに最適と考えられる追加接種時期が定められている

# 追加免疫効果

- **不活化ワクチンの基礎免疫のための接種間隔：一般に1カ月程度**
  - 日本脳炎やインフルエンザなどの流行期のある疾患では、それに間に合わせるため急いで免疫を付けたい場合があるので、最短間隔が6日間あるいは1週間（13歳未満では2週間）となっているが、**免疫効果を考えると、できれば3～4週間空けたい**
- **生ワクチン：自然感染と同様の人工的な感染を起こす**
  - 以前は生涯にわたる免疫を期待されていた
  - 弱毒化した病原体をワクチンに用いるため、どうしても**獲得抗体価が自然感染と比較して低い**
  - 流行が少なくなると、自然感染による追加免疫効果を得る機会も少ない
  - 有効な抗体持続が10年前後で減少してくる者が出る
    - 麻疹、風疹、水痘の生ワクチンには2回接種法が採用



図1 追加免疫効果による抗体上昇の様子を示す模型図



(注) 追加接種時期が不規則になった場合などの考え方：

- ・DPTの1期の場合は、追加を含めて合計接種回数が4回を越えないように案配する。回数が増すと注射局所の反応が強くなることがある。
- ・日本脳炎は、初年度に1回しかできなかった場合、医学的には翌年1回、その翌年1回でも、2年目以降の効果はよい。
- ・成人（13歳以上の年齢を含む。）のインフルエンザ予防接種では、それまでに罹患ないし予防接種の既往があるので、1回の接種で抗体が上がるが、低年齢児では2回の接種が必要。

**(予防接種必携より)**

**予防接種歴の把握は、  
個人の感染予防に加えて、  
所属施設の感染症対策にも  
極めて重要**

**副反応を集計解析する上で、  
分母情報（被接種者数）は極めて重要**

# 母子健康手帳の予防接種欄を必ず確認

## 定期接種だから受けているはずという思い込みは危険

### 記録がない場合は受けていないと考える

**予防接種の記録 (1)**  
 0歳～1歳未満  
 シンデリア・百日咳・破傷風  
 High Diph. Tetanus  
 0歳 1歳

**予防接種の記録 (2)**  
 1歳～2歳未満  
 破傷風  
 Tetanus  
 1歳 2歳

**予防接種の記録 (3)**  
 2歳～3歳未満  
 シンデリア  
 High Diph. Tetanus  
 日本脳炎  
 Japanese Encephalitis  
 インフルエンザ  
 Influenza  
 小児麻疹  
 Measles  
 日本脳炎  
 Japanese Encephalitis  
 ロタウイルス  
 Rotavirus

**予防接種の記録 (4)**  
 3歳～4歳未満  
 日本脳炎  
 Japanese Encephalitis  
 インフルエンザ  
 Influenza

**予防接種の記録 (5)**  
 4歳以上の予防接種  
 4歳 5歳 6歳 7歳 8歳 9歳 10歳 11歳 12歳

**予防接種**  
 予防接種の種類  
 子どもの健康記録  
 子どもの主な任意接種  
 子どもの主な任意接種  
 子どもの主な任意接種  
 子どもの主な任意接種

# ワクチン接種記録システム (VRS : Vaccination Record System)

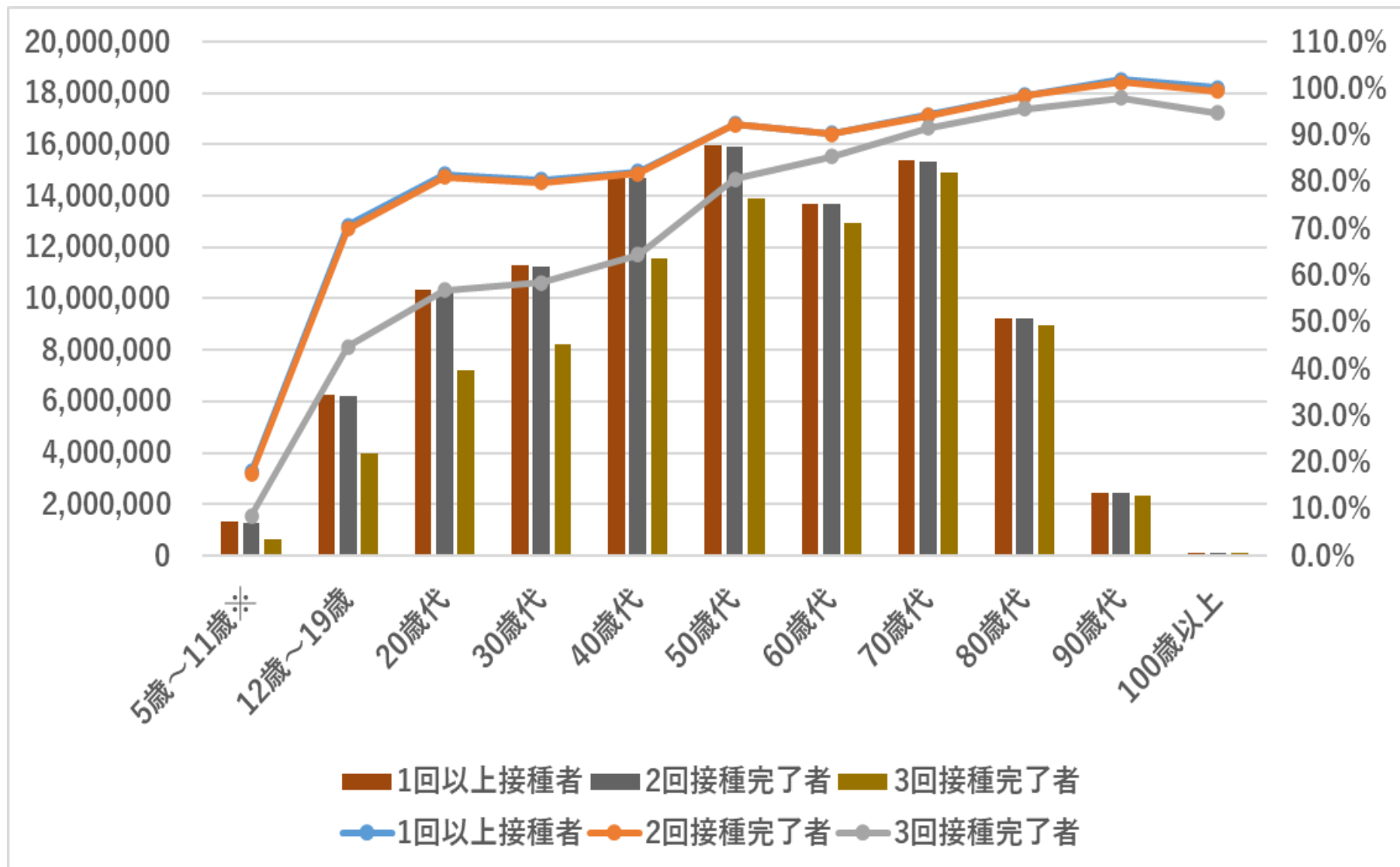
- 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種にあたり、自治体が**ワクチン接種の状況を可能な限り逐次把握すること**を支援する
- ワクチン接種記録システム「接種記録システム」を国として準備
- 市区町村において、
  - **住民一人一人の接種状況を逐次確認**
  - **様々な問い合わせに対応することが可能**
- 都道府県、国において、
  - **ワクチン接種状況のきめ細かな情報提供を行うことができる**
  - **災害時における予診票等の喪失にも対応できる**
  - **ワクチン接種の円滑化を図ることが可能になる**

# 新型コロナワクチン回数別被接種者数・接種率

(首相官邸ホームページ<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html>公表数値から著者作図)

## 総接種回数：4億621万5,583回（令和5年8月8日公表）

被接種者数



接種率・接種完了率

全人口の  
80.9%が1回以上  
79.9%が2回完了  
68.8%が3回完了

令和5年5月8日以降：  
17.7%が3回完了  
うち高齢者53.7%

65歳以上の  
92.8%が1回以上  
92.6%が2回完了  
91.5%が3回完了

5～11歳小児の  
24.1%が1回以上  
23.4%が2回完了  
9.8%が3回完了

6か月～4歳小児の  
4.0%が1回以上  
3.7%が2回完了  
2.9%が3回完了

# ワクチンの2つの役割～「個人を守る」&「社会を守る」

## 個人を守る

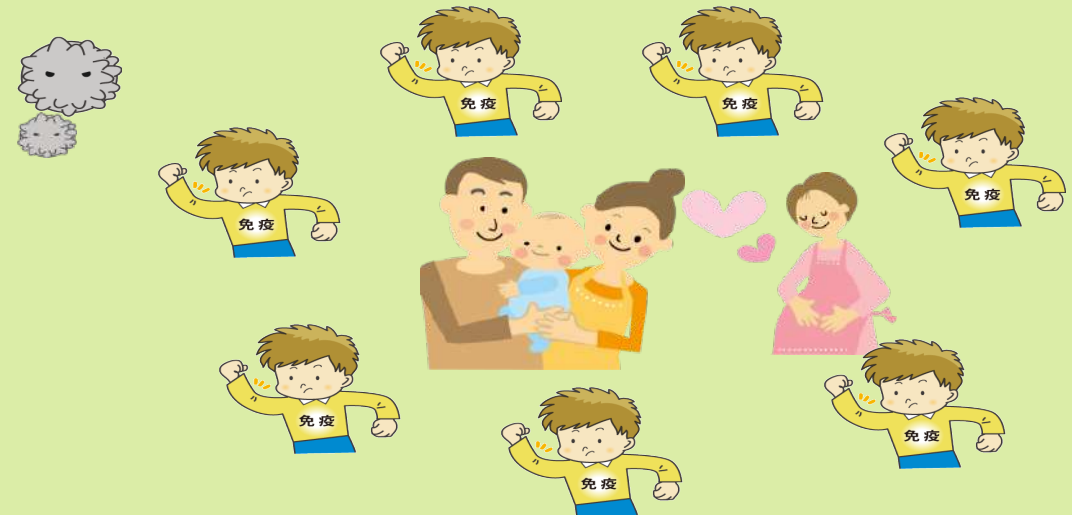
免疫を獲得して、感染症の発症あるいは重症化を予防できる。



密接な関わり

## 社会を守る

- 集団が免疫を獲得することで、ウイルスや細菌がその集団の中に入ってきても流行を防ぐことができる。
- ワクチンを受けることができない者を間接的に感染症から守ることができる。
- 病気を根絶できる。

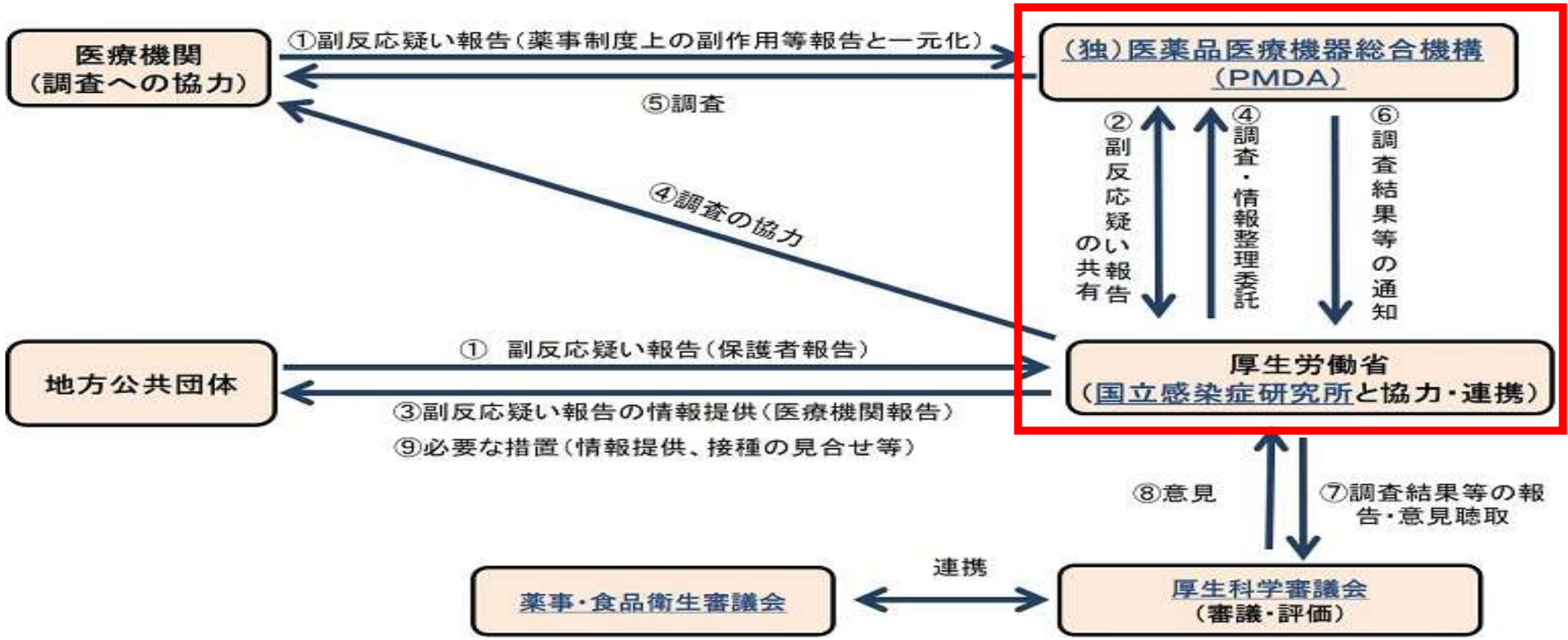




# 今日の内容

- 予防接種の知識
- **予防接種後副反応について**
  - 新型コロナワクチン
  - おたふくかぜワクチン
  - Immunization Stress Related Response (ISRR) 予防接種ストレス関連反応
- 風しん第5期定期接種について

# 日本の予防接種後副反応疑い報告制度



(厚生労働省ホームページより)



# 予防接種後に起こる症状/疾患の種類と注意事項

## ● 比較的好く見られる症状

(頻度は数%～数十%・数日以内に治ることがほとんど)

(局所反応)

- ・接種したところが赤くなる、痛くなる、腫れる

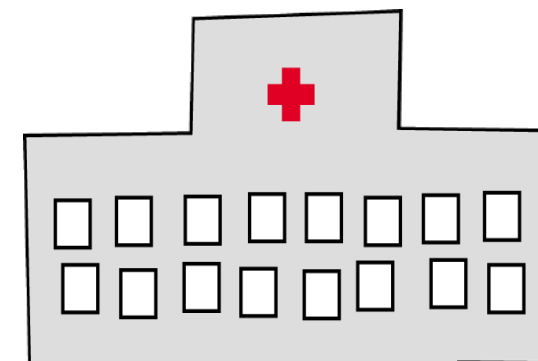
(全身反応)

- ・発熱
- ・じんましん など

## ● 重い症状/疾患 (頻度はまれ)

- ・アナフィラキシー
- ・脳炎・脳症、血小板減少性紫斑病 など

接種前によく説明をします。



接種後30分は、接種医療機関で体調を観察しながら待機 (アナフィラキシーや、血管迷走神経反射による失神など、急激な症状はこの間に起こることがほとんどです)

(別紙様式1) 報告先: (独)医薬品医療機器総合機構 新型コウワクチン専用FAX番号: 0120-011-126 その他ワクチン用FAX番号: 0120-176-146

予防接種後副反応疑い報告書

予防接種法上の定期接種・臨時接種、任意接種の別	□定期接種・臨時接種		□任意接種
氏名又はイニシャル(姓・名)	性別	1 男	2 女
住所	都道府県	区市町村	生年月日
氏名	1 接種者(医師) 2 接種者(医師以外) 3 主治医 4 その他( )		
医療機関名	電話番号		
住所			
接種場所	住所		
ワクチン	ワクチンの種類	ロット番号	製造販売業者名
	接種回数		
	① 第 期( 回目)		
	② 第 期( 回目)		
	③ 第 期( 回目)		
	④ 第 期( 回目)		
接種の状況	接種日	平成・令和 年 月 日 午前・午後 時 分	出生体重
	接種前の体温	度 分	家族歴
	予診票での留意点(基礎疾患、アレルギー、最近1ヶ月以内のワクチン接種や酒気、服薬中の薬、病気の副作用等、発育状況等)		
	1 有 ( )		
	2 無 ( )		
症状の概要	症状	定期接種・臨時接種の場合で医療の報告基準に該当する場合は、ワクチンごとに該当する症状にのみを記入し、急性重症化症候群等又はワクチン・アレルギー様相に該当する場合は、各欄を複数記入のうえ、欄出ししてください。報告基準にない症状の場合は任意接種の場合(症状名: )	
	発生日時	平成・令和 年 月 日 午前・午後 時 分	
	本剤との因果関係	1 関連あり	2 関連なし
		3 評価不能	4 他要因(他の疾患等)の可能性の有無
		1 有 ( )	2 無 ( )
	概要(症状・徴候・臨床経過・診断・検査等)		
	○製造販売業者への情報提供: 1 有 2 無		
症状の程度	1 重い	2 重くない	
	1 死亡 2 障害 3 死亡につながるおそれ 4 障害につながるおそれ		
	5 入院 ( 病院名: ) ( 医師名: )		
	6 上記1~5に準じて重い 7 後世代における先天性の疾患又は異常		
症状の転帰	転帰日	平成・令和 年 月 日	
	1 回復	2 軽快	3 未回復
	4 後遺症(症状)	5 死亡	6 不明
報告者意見			
報告回数	1 第1報	2 第2報	3 第3報以後

予防接種後副反応疑い報告書 (紙媒体)



予防接種後副反応疑い報告書 (感染研作成アプリ)

2021年4月からPMDAのHPから直接ウェブ入力可

医療従事者からの報告 (副作用・副反応・感染症・不具合報告・疾病等報告) <https://www.pmda.go.jp/safety/reports/hcp/0001.html>

予防接種法に基づく副反応疑い報告 (医療従事者向け) <https://www.pmda.go.jp/safety/reports/hcp/prev-vacc-act/0003.html>

安全対策システムで厚労省・PMDA・感染研が情報共有し、迅速に集計・解析

毎週、医療機関および製造販売企業から届く副反応疑い報告について、異常なシグナルの有無を監視するとともに、集計結果は、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会(合同開催)で審議される。

# ワクチン毎に 副反応疑い報告基準があります

ワクチン毎に報告対象の**症状・所見と、接種から症状出現までの日数**が  
定められています

ワクチン接種との**因果関係に関わらず**、基準に該当する場合は、全例を厚生労働大臣（送付先はPMDA）に報告することが医師等に義務付けられています

# ロタウイルス感染症

症状	発生までの時間
アナフィラキシー	4時間
腸重積症	21日
その他の反応	—

# 結核 (BCG)

症状	発生までの時間
アナフィラキシー	4時間
全身播種性BCG感染症	1年
BCG骨炎 (骨髄炎、骨膜炎)	2年
皮膚結核様病変	3か月
化膿性リンパ節炎	4か月
髄膜炎 (BCGによるものに限る。)	—
その他の反応	—

# ヒトパピローマウイルス感染症

症状	発生までの時間
アナフィラキシー	4時間
急性散在性脳脊髄炎 (ADEM)	28日
ギラン・バレ症候群	28日
血小板減少性紫斑病	28日
血管迷走神経反射(失神を伴うもの)	30分
疼痛又は運動障害を中心とする多様な症状	—
その他の反応	—

# インフルエンザ

症状	発生までの時間
アナフィラキシー	4時間
急性散在性脳脊髄炎 (ADEM)	28日
脳炎・脳症	28日
けいれん	7日
脊髄炎	28日
ギラン・バレー症候群	28日
視神経炎	28日
血小板減少性紫斑病	28日
血管炎	28日
肝機能障害	28日
ネフローゼ症候群	28日
喘息発作	24時間
間質性肺炎	28日
皮膚粘膜眼症候群	28日
急性汎発性発疹性膿胞症	28日
その他の反応	—

# 今日の内容

- 予防接種の知識
- **予防接種後副反応について**
  - **新型コロナウイルス**
  - おたふくかぜワクチン
  - Immunization Stress Related Response (ISRR) 予防接種ストレス関連反応
- 風しん第5期定期接種について



# 新型コロナウイルス感染症

症状	発生までの時間
アナフィラキシー	4時間
血栓症（血栓塞栓症を含む。） （血小板減少症を伴うものに限る。）	28日
心筋炎	28日
心膜炎	28日
熱性けいれん	7日
その他の反応	—

# 新型コロナウイルスワクチン接種後副反応疑い報告基準

## 法律に基づいて、報告義務がある疾患/症状

- アナフィラキシー（接種後4時間以内に発生した場合）
- 血栓症（血栓塞栓症を含む。）（血小板減少症を伴うものに限る。）（接種後28日以内に発生した場合）
- 心筋炎、心膜炎（接種後28日以内に発生した場合）
- 熱性けいれん（接種後7日以内に発生した場合）

## 医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、以下に該当するもの（予防接種との関連性が高いと医師が認める期間に発生した場合）

- 入院治療を必要とするもの
- 死亡、身体の機能の障害に至るもの
- 死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの

## ワクチン接種との因果関係が示されていない症状も含め、幅広く評価を行うため、当面の間、積極的に報告すること検討されている疾患/症状

けいれん、ギラン・バレー症候群、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）、血小板減少性紫斑病、血管炎、無菌性髄膜炎、脳炎・脳症、関節炎、脊髄炎、心筋炎、顔面神経麻痺、血管迷走神経反射（失神を伴うもの）

# 予防接種法に基づく 医療機関等からの報告

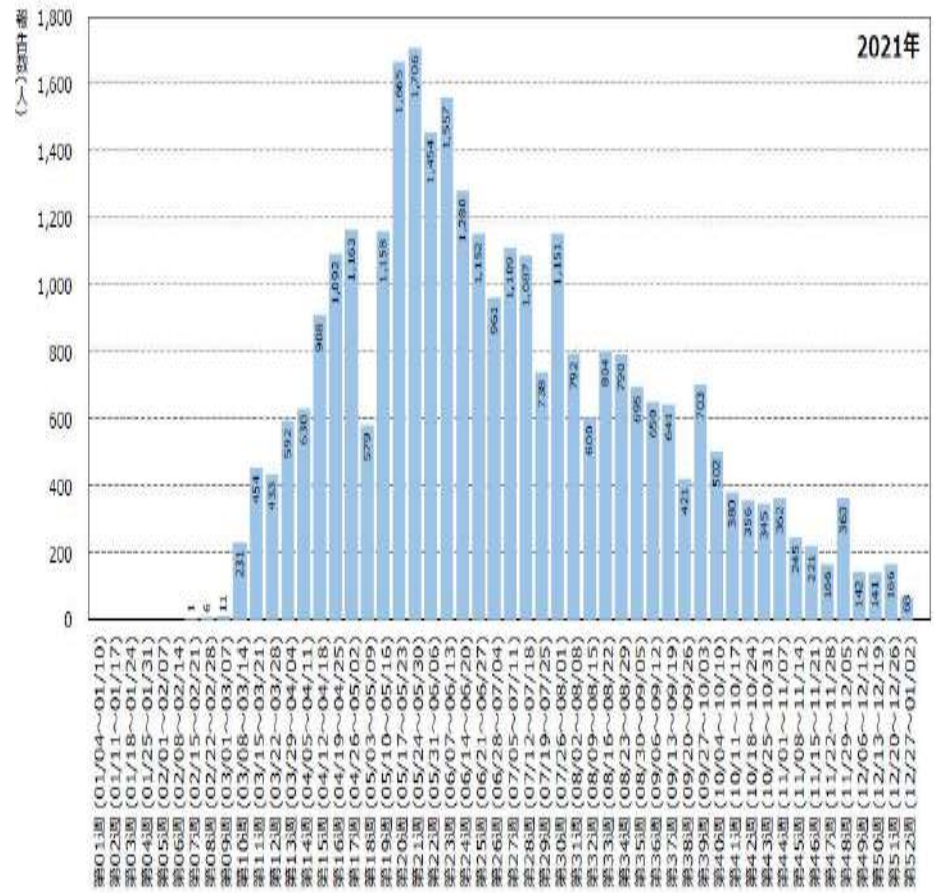
# 薬機法に基づく 製造販売企業からの報告

※ 2つがあります。

# 予防接種法に基づく医療機関からの週別報告数 (2021年2月17日～2023年4月30日、n=36,459)

週別報告数 (報告日: 2021年2月17日～2023年4月30日) (n=36,459)

医療機関報告

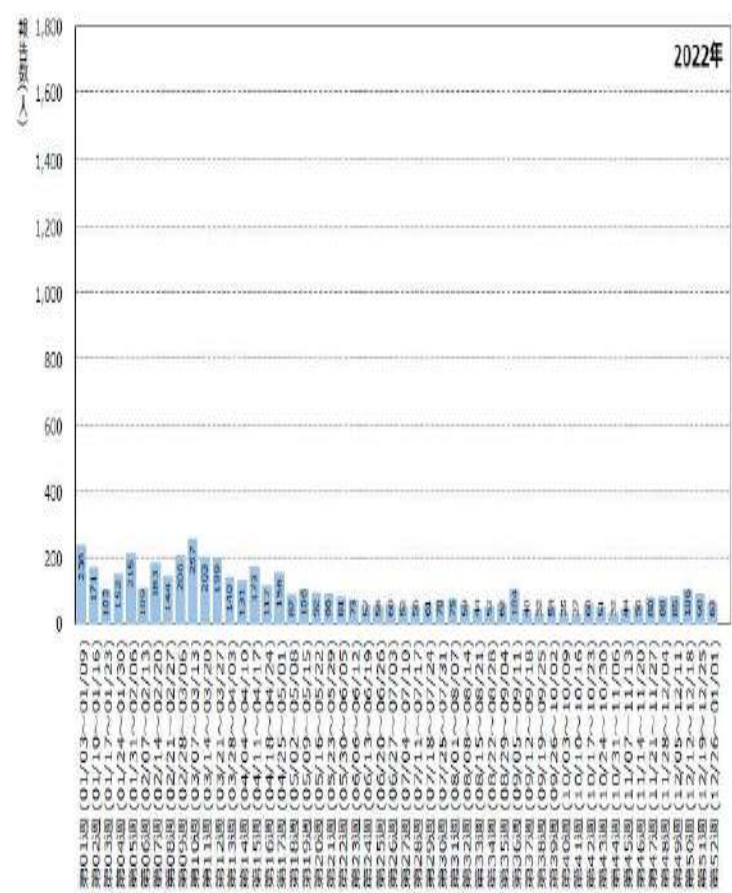


届出週

届出週に基づいた報告 2023年4月30日現在

週別報告数 (報告日: 2021年2月17日～2023年4月30日) (n=36,459)

医療機関報告

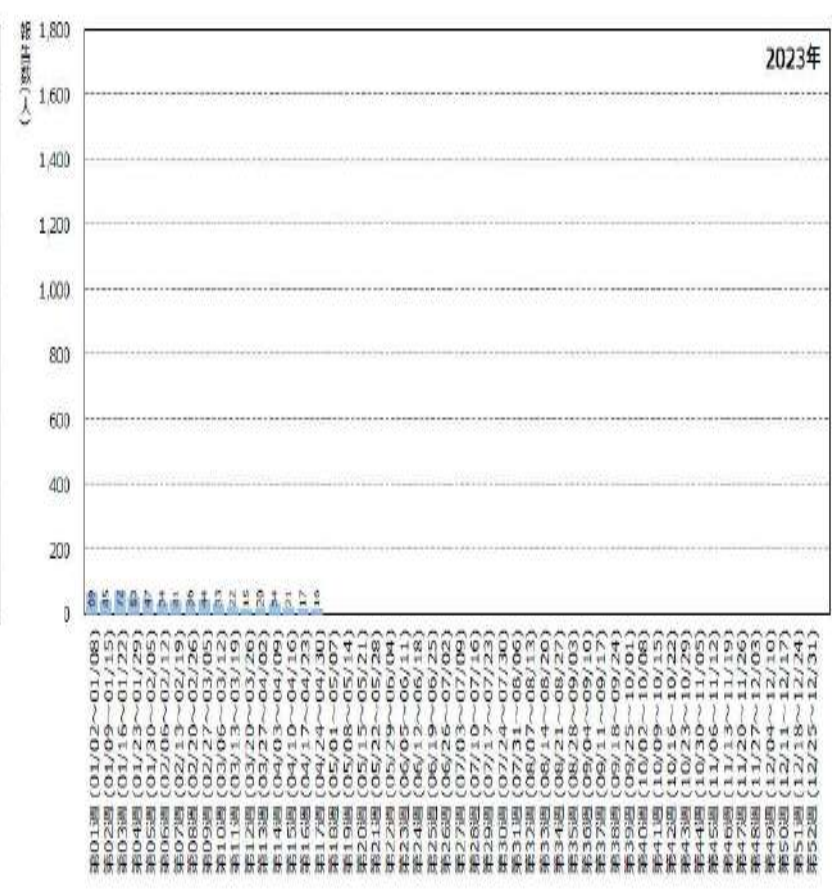


届出週

届出週に基づいた報告 2023年4月30日現在

週別報告数 (報告日: 2021年2月17日～2023年4月30日) (n=36,459)

医療機関報告



届出週

届出週に基づいた報告 2023年4月30日現在



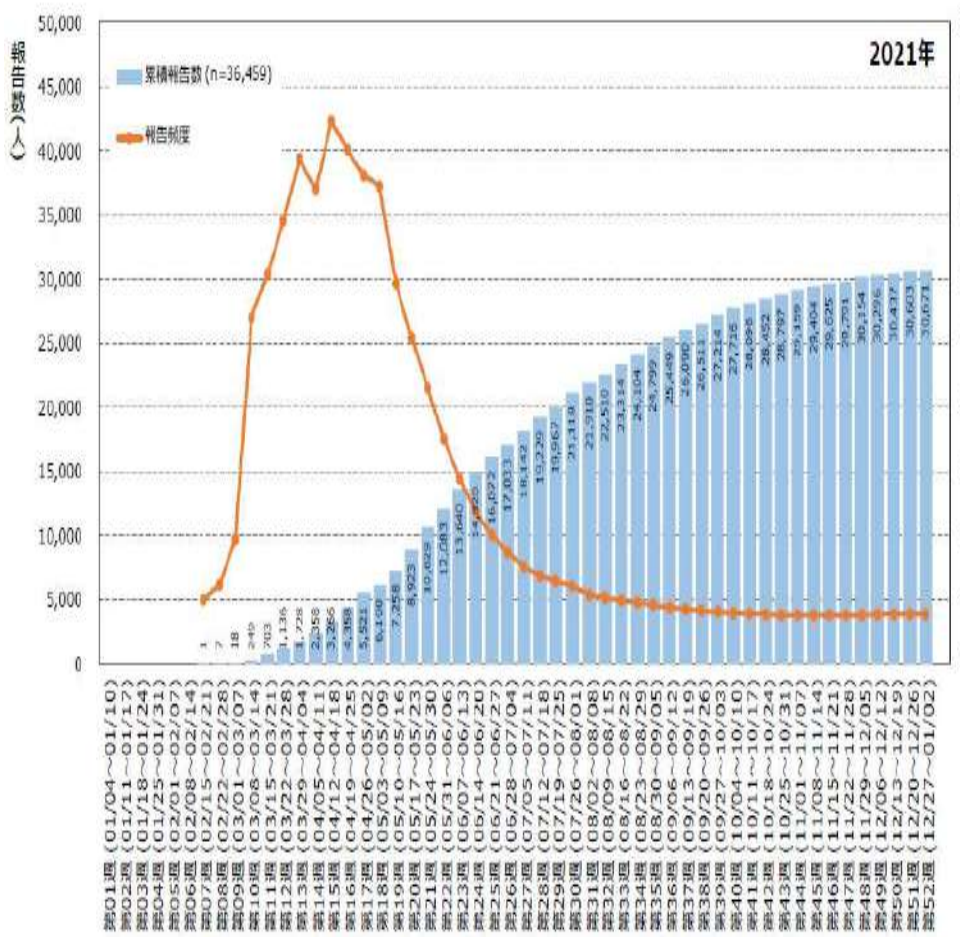
# ワクチン別推定接種回数(2023年4月30日現在)

※推定接種回数（令和5年7月28日開催の審議会資料より、推定接種者数の算出に用いるデータの集計（公表）方法が変更となった。）

	総接種回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
コナシ筋注（総数）	294,223,810	85,446,098	85,041,115	51,873,010	42,620,818	29,242,769
コナシRTU筋注（2価：起源株/オミクロン株BA.1）	8,207,035			726,130	6,131,382	1,349,523
コナシRTU筋注（2価：起源株/オミクロン株BA.4-5）	44,098,586			2,130,146	14,075,194	27,893,246
コナシ筋注6ヵ月～4歳用	438,605	170,838	156,839	110,928		
コナシ筋注5～11歳用（総数）	4,261,844	1,763,770	1,708,639	700,415	89,020	
コナシ筋注5～11歳用（2価：起源株/オミクロン株BA.4-5）	112,866			23,846	89,020	
スパイクボックス筋注（総数）	83,462,033	16,402,553	16,303,013	33,611,873	15,822,297	1,322,297
スパイクボックス筋注（2価：起源株/オミクロン株BA.1）	3,174,747			202,009	2,180,997	791,741
スパイクボックス筋注（2価：起源株/オミクロン株BA.4-5）	1,071,522			92,512	448,454	530,556
ヌバキソビッド筋注	317,170	57,501	56,107	184,669	17,305	1,588

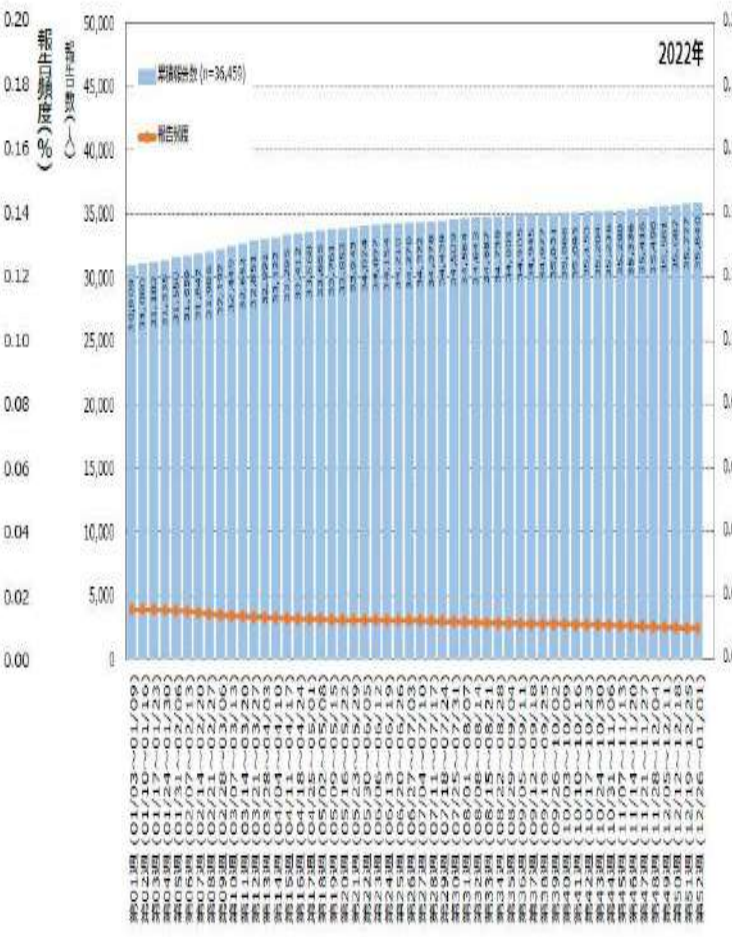
# 予防接種法に基づく医療機関からの週別累積報告数・報告頻度 (2021年2月17日～2023年4月30日、n=36,459)

週別累積報告数 (報告日: 2021年2月17日～2023年4月30日) (n=36,459)



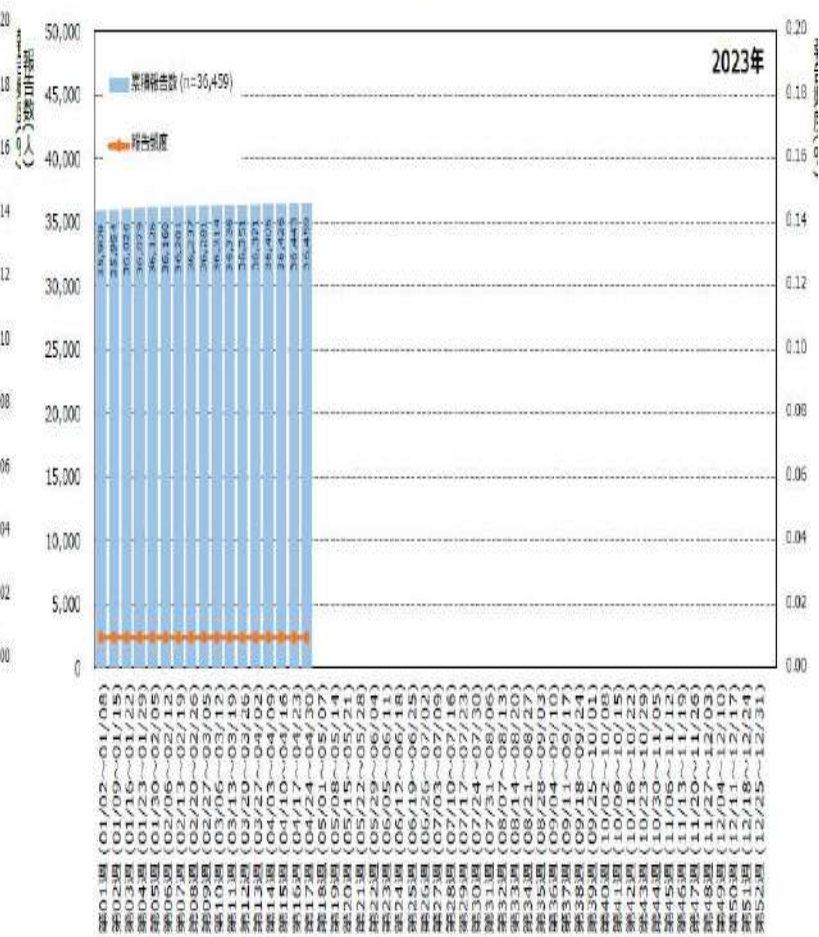
届出週 届出週に基づいた報告 2023年4月30日現在

医療機関報告 週別累積報告数 (報告日: 2021年2月17日～2023年4月30日) (n=36,459)



届出週 届出週に基づいた報告 2023年4月30日現在

医療機関報告 週別累積報告数 (報告日: 2021年2月17日～2023年4月30日) (n=36,459)



※2022年第17週の報告数は法改正に基づき算出





# 新型コロナワクチン接種後の 心筋炎・心膜炎について



第2版(2022年8月)

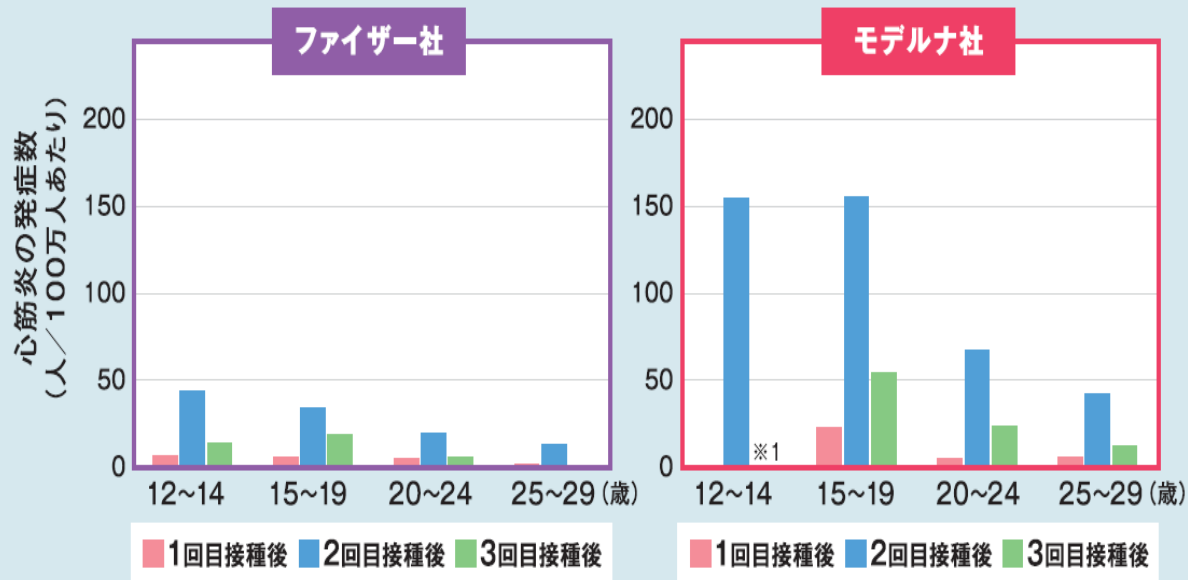
ファイザー社とモデルナ社の新型コロナワクチン接種後に、ごくまれに、心筋炎・心膜炎を発症した事例が報告されています。特に10代・20代の男性の接種後4日程度の間が多い傾向があります。

## 10代・20代の男性も

**3回目接種を含め引き続きワクチン接種をご検討ください。**

これまで、新型コロナワクチンの1・2回目接種後については、ごくまれではあるものの、10代・20代の男性でより多くの心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されたことをご知らせしてきました。

今般の報告により、3回目接種後は2回目接種後より頻度が低い傾向であることが確認されています。



※1 モデルナ社ワクチンによる3回目接種は、18歳以上が対象

※2 各回の報告頻度は、他の接種回で受けたワクチンの種類にかかわらず、当該回で受けたワクチンの種類ごとの頻度を示している。

出典:第82回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和4年度第8回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会(令和4年8月5日)資料から作成

■心膜炎の報告頻度については、裏面Q2の二次元コードからご覧ください。

**ワクチン接種後4日程度の間**に胸の痛み、動悸(どうき)、息切れ、むくみなどの症状がみられた場合は、**速やかに医療機関を受診して、ワクチンを受けたことを伝えてください。**

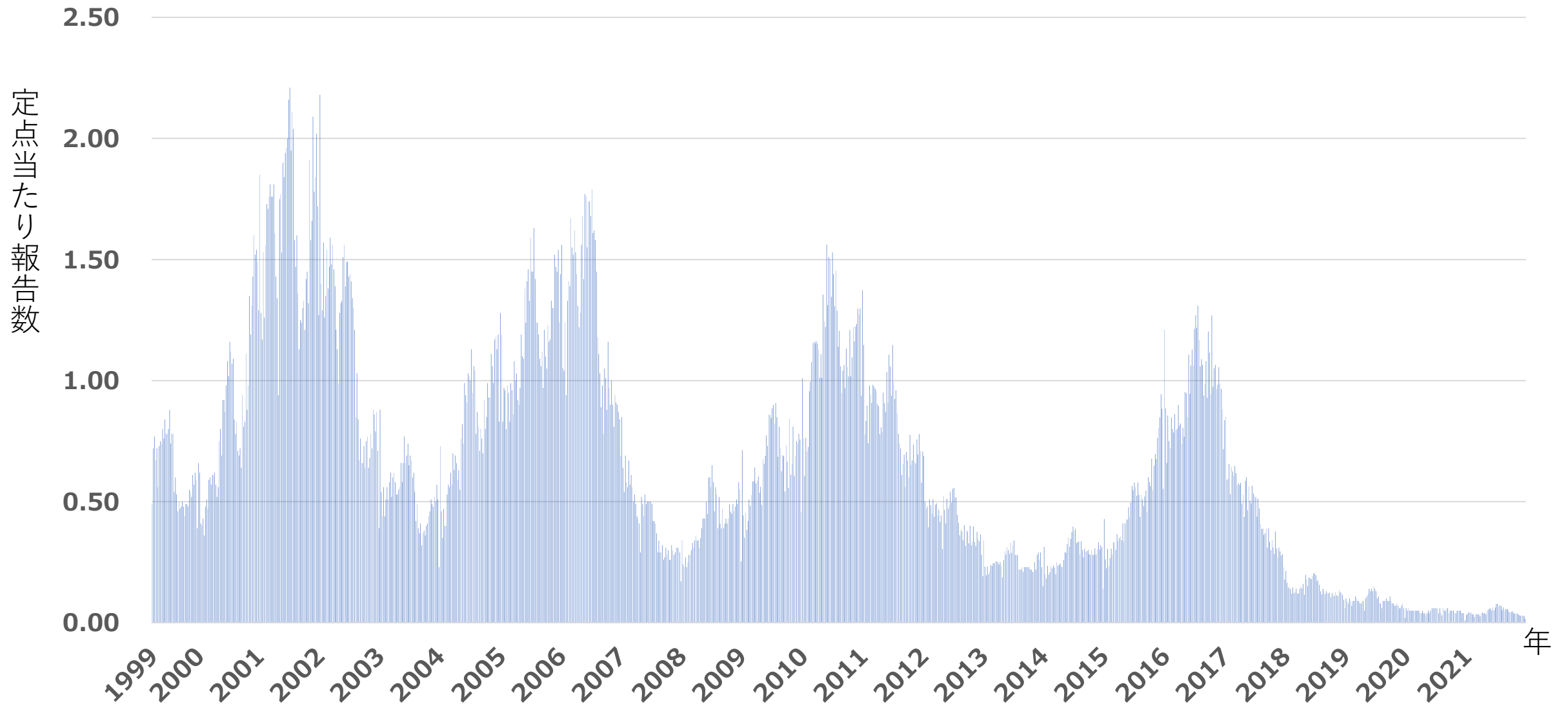
- こうした症状は、心筋炎・心膜炎の典型的な症状です。ただし、そのほかの原因でもこれらの症状となることがあります。医師の診察を受けましょう。
- 心筋炎・心膜炎と診断された場合は、一般的には入院が必要となりますが、**多くは安静によって自然回復します。**

# 今日の内容

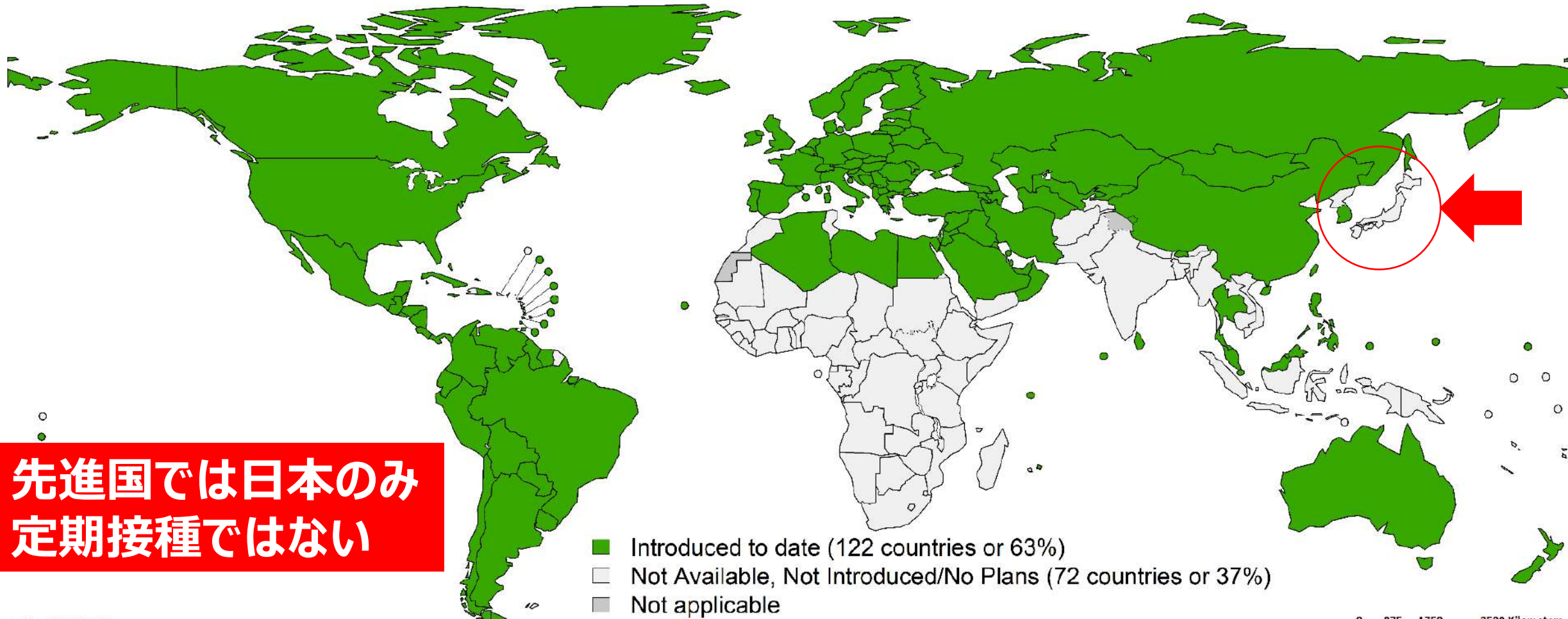
- 予防接種の知識
- **予防接種後副反応について**
  - 新型コロナワクチン
  - **おたふくかぜワクチン**
  - Immunization Stress Related Response (ISRR) 予防接種ストレス関連反応
- 風しん第5期定期接種について



# 流行性耳下腺炎週別小児科定点あたり報告数（1999年第13週～2021年第52週） 41



# 国の予防接種プログラムにおたふくかぜワクチンが含まれている国 2020年10月現在



**先進国では日本のみ  
定期接種ではない**

Date of slide: 2020-10-27  
Map production: Immunization, Vaccines and Biologicals (IVB), World Health Organization(WHO)  
Data source: IVB database as at 23th October 2020

0 875 1750 3500 Kilometers



**Disclaimer:**  
The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area nor of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.  
World Health Organization, WHO, 2020. All rights reserved

# おたふくかぜワクチン接種後 副反応疑い報告

第94回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和5年度第5回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会	資料2-4
2023（令和5）年7月28日	

## 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチンの 副反応疑い報告状況について

○乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン

商 品 名 : ①おたふくかぜ生ワクチン「第一三共」  
②乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」  
製 造 販 売 業 者 : ①第一三共株式会社（旧 北里第一三共ワクチン株式会社）  
②武田薬品工業株式会社  
販 売 開 始 : ①昭和57年5月  
②昭和58年1月  
効 能 ・ 効 果 : おたふくかぜの予防

平成25年4月1日

～令和5年3月31日までに、

**1,322万2,826人が接種（推定）**

製造販売業者から

**220人（0.0017%）**の

副反応疑い報告

医療機関から

**336人（0.0025%）**の

副反応疑い報告

**内240人（0.0018%）は重篤**

副反応疑い報告数 （令和5年1月1日から令和5年3月31日報告分まで：報告日での集計）
--

令和5年1月1日から令和5年3月31日までの医療機関への納入数量を接種可能なべ人数とし、副反応疑い報告頻度を計算したものは以下のとおり。  
※報告日での集計のため、以下の件数には接種日や発生日が対象期間以前の症例も含まれている。

（単位：例）

	接種可能なべ人数 （回数）	製造販売業者からの報告		医療機関からの報告	
		報告数 （）：接種日が左記期間内の症例		報告数 （）：接種日が左記期間内の症例	
		報告頻度	報告頻度	うち重篤	
令和5年1月1日 ～令和5年3月31日	323,520	5 (2) 0.0015% 0.0006%	3 (3) 0.0009% 0.0009%	1 (1) 0.0003% 0.0003%	
（参考） 平成25年4月1日～ 令和5年3月31日	13,222,826	220 0.0017%	336 0.0025%	240 0.0018%	

※1人あたり0.5mL接種されたと仮定した。

令和5年1月1日から令和5年3月31日報告分の重篤例の転帰

（単位：例）

重篤例数	製造販売業者からの報告						医療機関からの報告					
	回復/ 軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	計	回復/ 軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	計
	4	0	0	0	1	5	1	0	0	0	0	1

（注視点）

※ 副反応疑い報告については、医薬品との因果関係が不明なものを含め、製造販売業者又は医療機関から報告されたものであり、個別に医薬品との関連性を評価したものではありません。

※ 「重篤」とは、死亡、障害、それらに繋がるおそれのあるもの、入院相当以上のものが報告対象とされているが、必ずしも重篤でないものも「重篤」として報告されるケースがある。

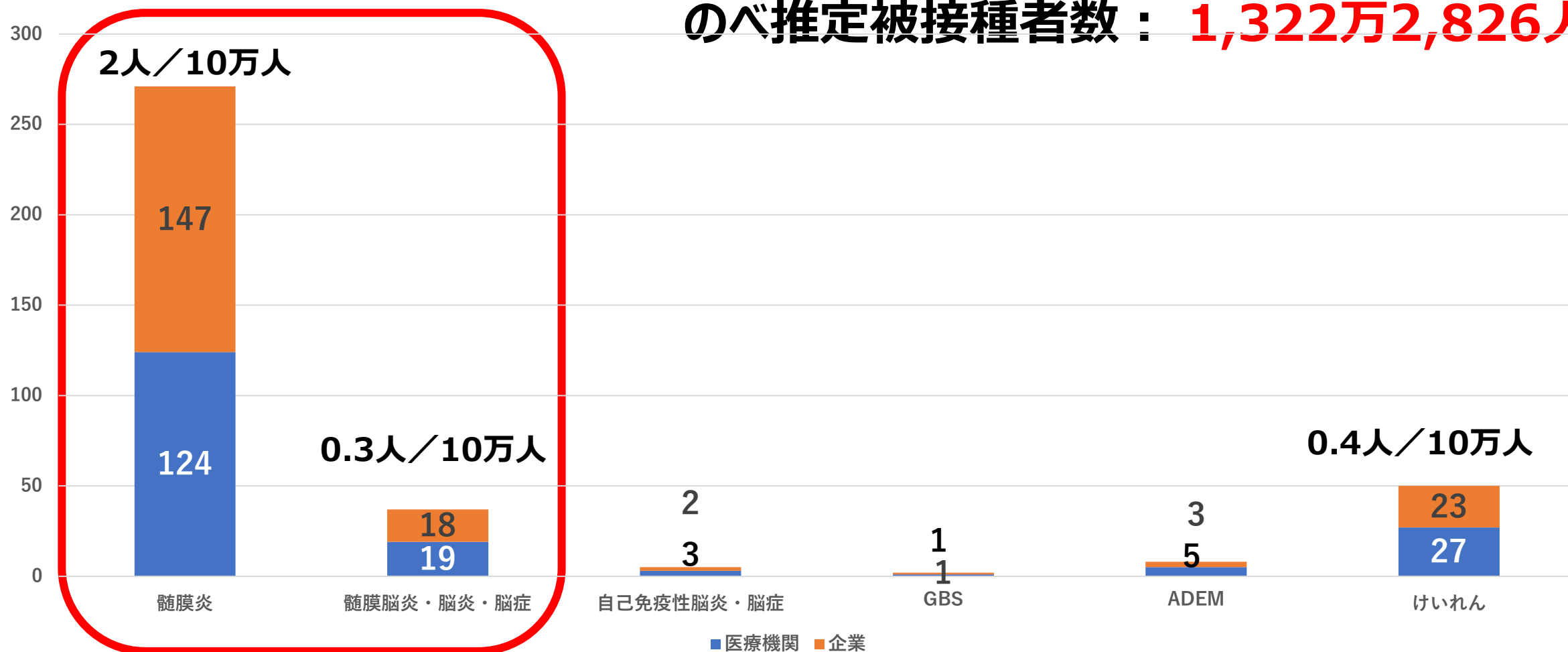
※ 非重篤症例には、重篤度が不明の症例も含まれている。

※ 製造販売業者からの報告は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第68条の10に基づき「重篤」と判断された症例について報告されたものである。なお、製造販売業者からの報告には、医療機関から報告された症例と重複している症例が含まれている可能性があり、重複症例は、医療機関報告として計上している。また、その後の調査等によって、報告対象でないことが確認され、報告が取り下げられた症例が含まれる可能性がある。

※ 製造販売業者からの報告には、複数の製造販売業者から重複して報告されている症例が含まれている可能性がある。

# おたふくかぜワクチン接種後副反応疑い報告 (平成25年4月1日～令和5年3月31日)

のべ推定被接種者数： **1,322万2,826人**



# 背景と経緯

## おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査

公益社団法人 日本小児科学会 / 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED) 研究班

おたふくかぜワクチン接種後の  
無菌性髄膜炎の発症率

- (独) 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) への副反応疑い報告

平成25年4月1日～令和5年3月31日

(髄膜炎、髄膜脳炎、脳炎、脳症、GBS、  
ADEM、自己免疫性脳炎脳症を含む：373人)

1,322万2,826人接種

$$= \frac{1}{35,450 \text{ 接種}} = 0.0028\%$$

約15～23倍の差

- 薬剤添付文書  
(21,465例による)

$$= \frac{1}{1,600 \sim 2,300 \text{ 接種}} = 0.043 \sim 0.063 \%$$



ワクチンの定期接種化を検討するための資料とする目的で

10万人～20万人規模の前向き調査が必要





# おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査

公益社団法人 日本小児科学会／国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）研究班

## 一次調査

ワクチン接種を受けた小児について、ワクチン接種に関する情報などをデータベースに入力



## 一次調査 対象

2020年1月以降におたふくかぜワクチンを接種した1歳から小学校就学前までの者（保護者によるオプトアウトが無い者）

## 接種した全例が対象

- 被接種者の
- ① 年月齢
  - ② 性別
  - ③ 接種日
  - ④ ワクチン製剤の種類
  - ⑤ 接種回数
  - ⑥ 接種4週間後の健康状態
  - ⑦ 接種8週間後の健康状態
  - ⑧ 副反応が疑われる症状発現時は  
同時接種ワクチンの有無とその種類

## 二次調査

副反応が疑われる症状が認められた者の経過や所見、およびワクチンに関する情報などをデータベースに入力



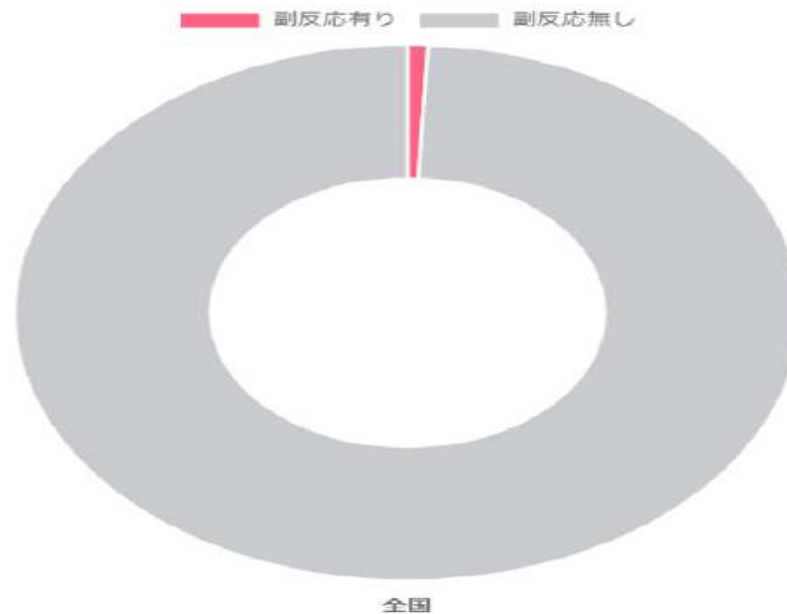
## 二次調査 対象

無菌性髄膜炎あるいは脳炎等を併発して入院あるいは髄液検査を行った者

## 副反応が疑われた例のみ

- 保護者に対するインフォームド・コンセント
- 検体の採取と送付

> [この調査について\(必ずお読み下さい\)](#) > [質問と答え](#) > [ダウンロード](#)



## Mumps Vaccine Safety Database

### 副反応報告集計

# 534 / 62,671 [919]

副反応件数 / 予防接種件数 [協力医療機関数]

#### お知らせ

■6月24日 23時59分59秒にて、副反応有無の報告などがすべて締め切られました。(2023/06/25 03:20)

■接種後の副反応有無の報告の締め切りを★6月24日(土)★まで延長し、有無の確認ができていない接種例の見つけ方と、副反応有無の報告の仕方について

■接種後の副反応有無の報告の締め切りは★6月15日(木)★までです。その見つけ方と、副反応有無の報告の仕方について、FAQをご覧ください。(2023/06/09)

■Ver.1.2.16 QRコード報告用紙の医療機関用QRを読み込んだ際にエラーになる場

## Mumps Vaccine Safety Database

<https://mumps.children.jp/board/index.html>

# 今日の内容

- 予防接種の知識
- **予防接種後副反応について**
  - 新型コロナワクチン
  - おたふくかぜワクチン
  - **Immunization Stress Related Response (ISRR) 予防接種ストレス関連反応**
- 風しん第5期定期接種について



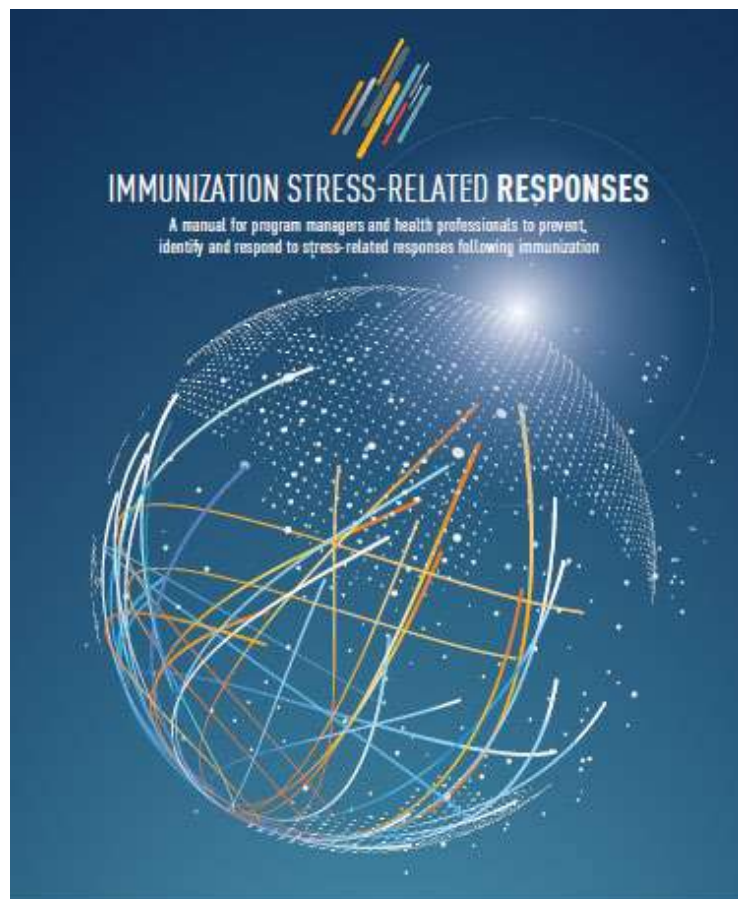
**WHO ワクチン安全性諮問委員会**  
**The Global Advisory Committee on Vaccine Safety**  
**(GACVS) において**

**Immunization Stress Related Response (ISRR)**  
**予防接種ストレス関連反応** という概念について議論

**ワクチン接種前後に生ずる不安、恐れ、それをきっかけに生ずる一連の痛み、恐怖症、身体変化などで、周辺や社会的環境の影響受けやすい。**

**これを防ぐためには、接種者による丁寧な説明、丁寧な接種が必要である。**

# Immunization Stress Related Response (ISRR) 予防接種ストレス関連反応 (Manual)



20 December 2019

<https://www.who.int/publications-detail/978-92-4-151594-8>

岡部信彦先生作成資料

# Immunization Stress Related Response (ISRR)

## 予防接種ストレス関連反応 とは

ストレス反応として観察される多様な症状・徴候スペクトラムを含む包括的概念(単なる不安症状ではない)

予防接種の前、接種時、接種後に様々な要因により起こりうる反応



Biopsychosocial model :

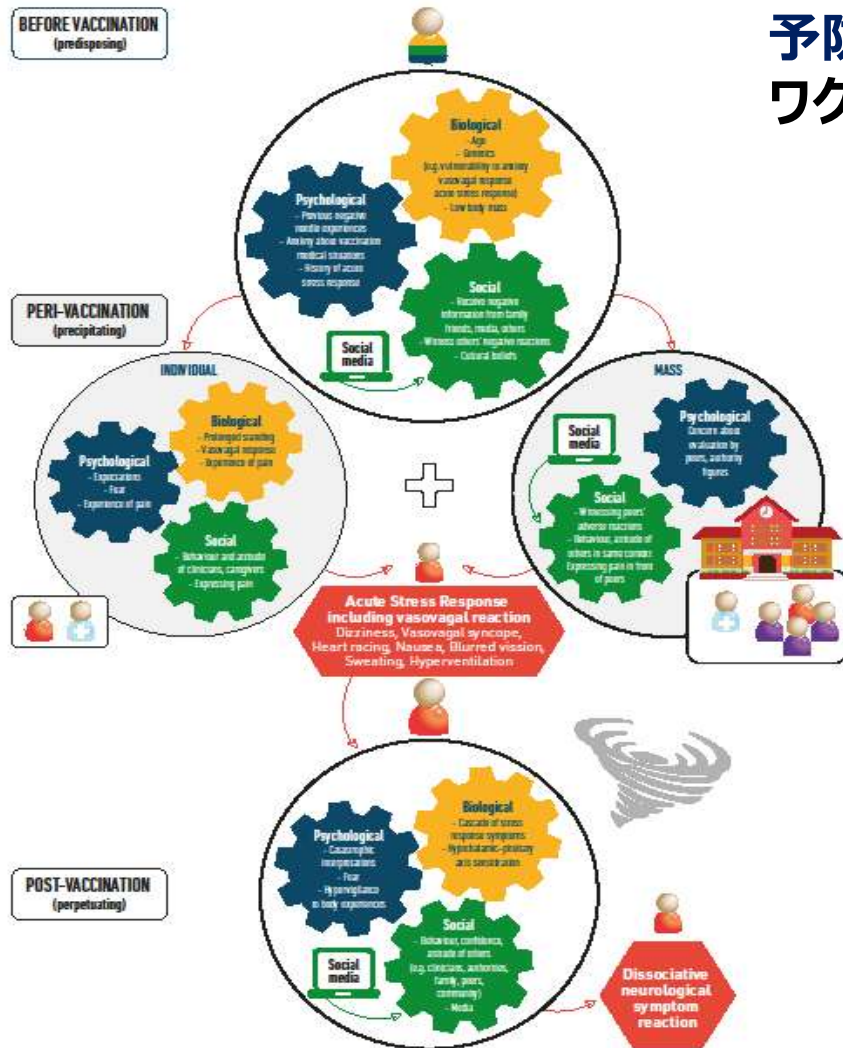
**生物学的**・**心理学的**・**社会的**に多面的なとらえ方で、接種に関連した多様な反応を理解する。

予防接種に関わるすべての医療従事者が、基本的な理解とともに十分な対応をすべきである。

# Immunization Stress Related Response (ISRR)

## 予防接種ストレス関連反応

### ワクチン接種によるストレスに関連した一連の反応 (WHO)



ワクチン接種前のストレス反応  
 ワクチン接種前後のストレス反応  
 ワクチン接種直後のストレス反応  
 ワクチン接種後長期にわたるストレス反応

黄色：生物的背景

青色：心理的背景

緑色：社会背景

緑枠・白色：Social Media

赤色 1：急性反応

赤色 2：慢性持続的反応

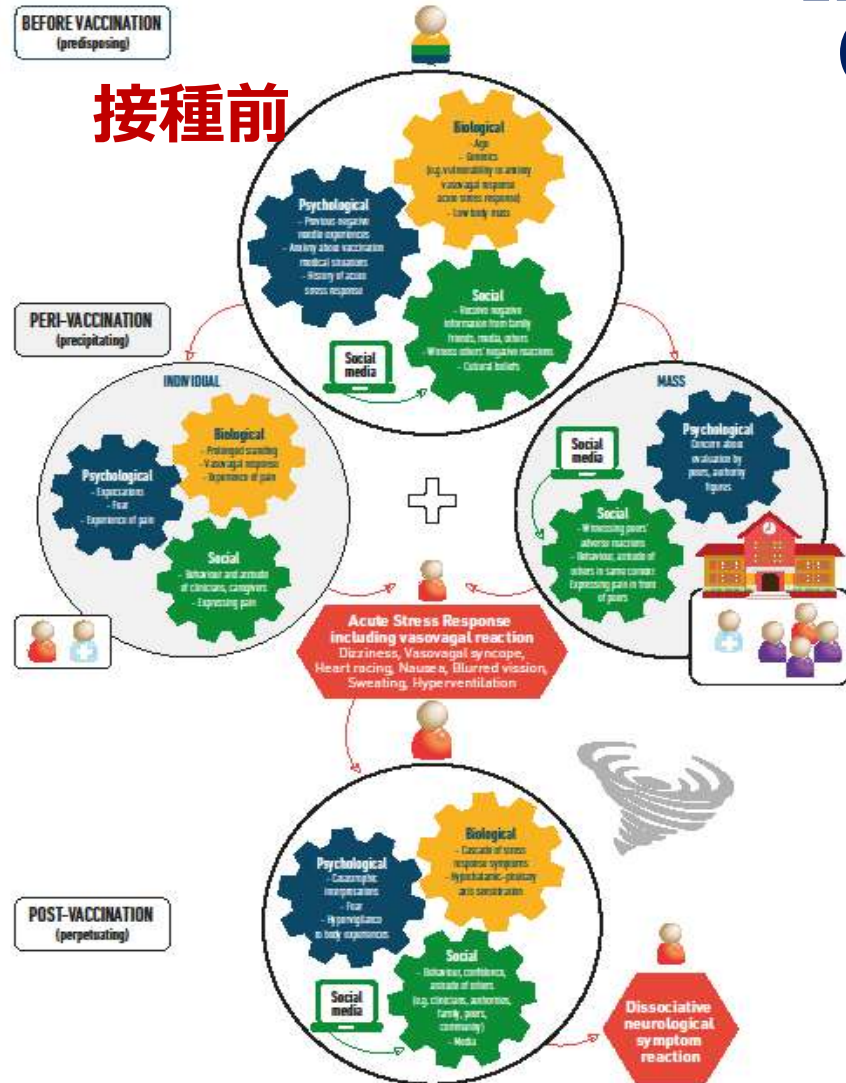
丁寧な説明

丁寧な接種手技

丁寧な、科学的・医学的対応

# Immunization Stress Related Response (ISRR) 予防接種ストレス関連反応

## 接種前 (素因)



### 生物学的要因

年齢、遺伝的素因、低体重

### 心理的要因

針への恐怖心

ワクチン、薬剤への不安

急性ストレス反応の既往

### 社会的要因

家族・友人・メディアから受けるネガティブな情報

ネガティブな事象の目撃

接種に否定的な思想・信条

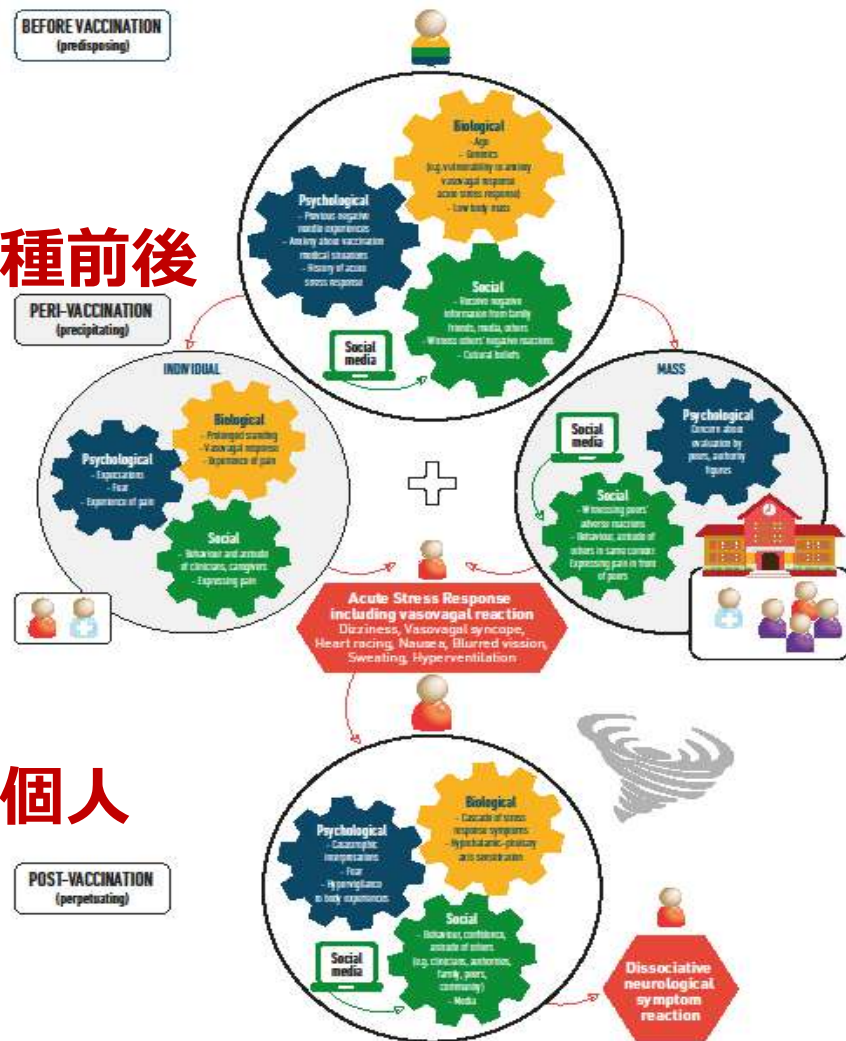


# Immunization Stress Related Response (ISRR) 予防接種ストレス関連反応

## 接種前後 (促進)

左：個人

接種前後



個人

生物学的要因

長時間の立位

血管迷走神経反射

痛みの経験

心理学的要因

思い込み

恐怖心

痛みの経験

社会的要因

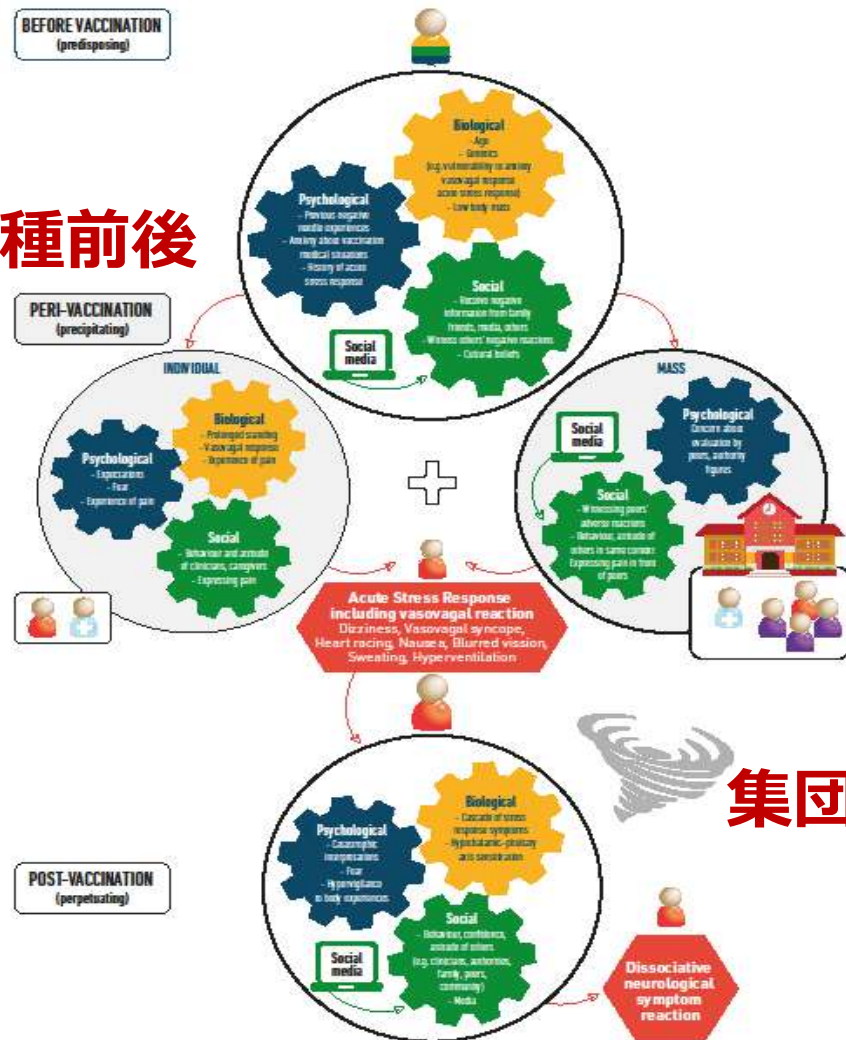
医師や介助者の態度や言動、

痛みの説明

岡部信彦先生作成資料

# Immunization Stress Related Response (ISRR) 予防接種ストレス関連反応

接種前後



接種前後（促進）  
右：集団

心理的要因

周囲（仲間や権威者など）にどう思われるか

社会的要因

仲間に生じた有害事象の目撃

同じ状況にいる周囲の人の態度や言動

周囲の面前での痛みの表れ

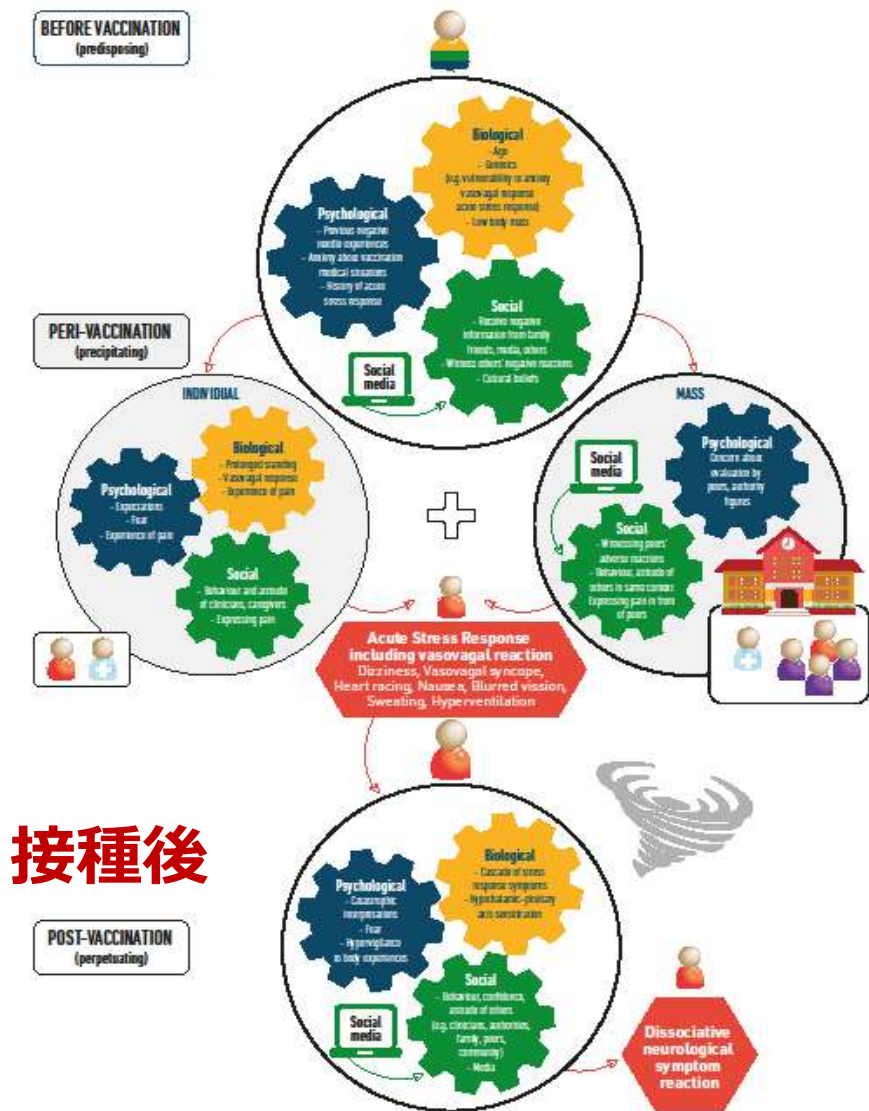


Social media での拡散

岡部信彦先生作成資料

# Immunization Stress Related Response (ISRR) 予防接種ストレス関連反応

**急性反応（含む・血管迷走神経反射）  
めまい、血管迷走神経性失神  
動悸、ぼんやりとした視力、過呼吸**



**接種後**



# Immunization Stress Related Response (ISRR) 予防接種ストレス関連反応

## 接種後（持続要因）

### 生物学的要因

一連のストレス反応の継続

HPA系\*の鋭敏化

\* hypothalamic-pituitary-adrenal axis

視床下部-下垂体-副腎系

### 心理学的要因

自分の身に関する破滅的解釈

恐怖

身体反応への過剰反応

### 社会的要因

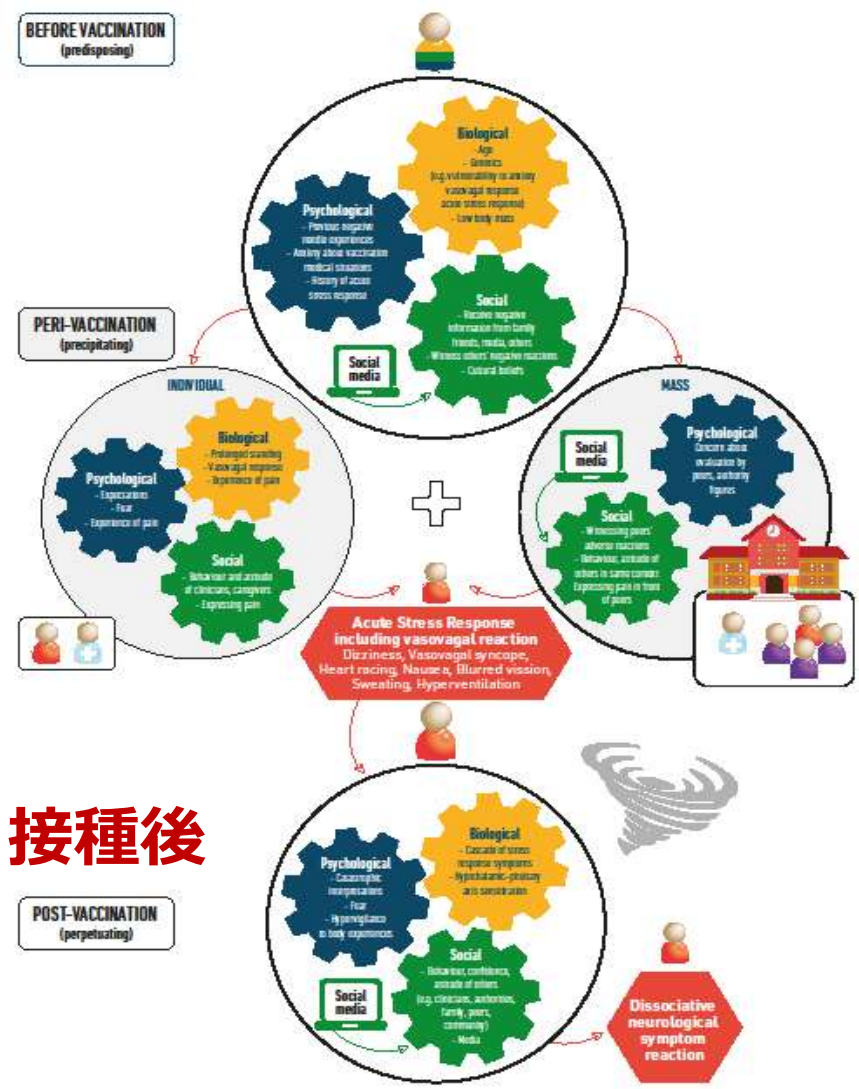
周囲の人の態度や言動、信頼性

(医師、権威者、家族、仲間、コミュニティ)



Social media での拡散

岡部信彦先生作成資料



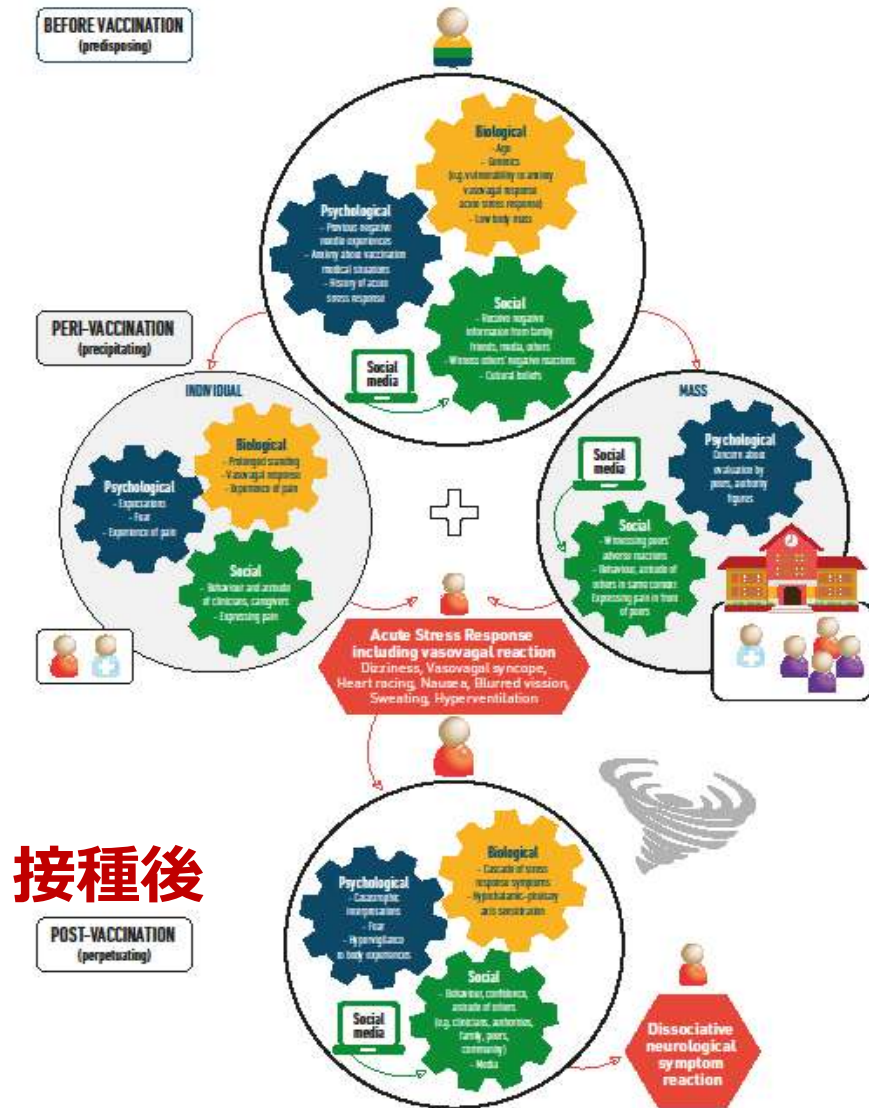
## 接種後

POST-VACCINATION (perpetuating)

# Immunization Stress Related Response (ISRR) 予防接種ストレス関連反応

## DNSR Dissociative Neurological Symptom Reactions

(解離性神経症状反応)



# DNSR :

## Dissociative Neurological Symptom Reactions

# 解離性神経症状反応

遅発性反応として出現

- 脱力または麻痺
- 不自然な四肢の姿勢や動作
- 不規則な歩き方
- 言語障害
- 明らかな生理学的根拠のない  
心因性非てんかん発作

# Immunization Stress Related Response (ISRR) 予防接種ストレス関連反応 の予防に重要なポイント

- 発症の素因となりうる危険因子をもつ接種対象者を事前に特定する。
- 年齢に応じた接種前、接種時、接種後の不安や恐怖を軽減するための基本的な対策を講じる。
- 特定された危険因子がある場合、カウンセリングや行動介入、薬剤使用などの追加策も検討する。
- 接種環境（接種場所、方法、信頼できる人の同席、接種順番など）を整える。

# Immunization Stress Related Response (ISRR) 予防接種ストレス関連反応 の予防に重要なポイント

- **接種対象者と信頼関係を築き、自信をもったリラックスしたアプローチをする。[よく聞くことを心がけ、接種対象者の気持ちを認める・正しい情報提供をする（「説明」はしても「説得」はしない）]**
- **保護者ともコミュニケーションをとり、接種に自信を持たせ、接種に対する恐怖を被接種者に植え付けさせないようにする。**
- **痛みの軽減のための年齢に応じた適切なアプローチをする。**

# Immunization Stress Related Response (ISRR)

## 予防接種ストレス関連反応発生時の対応

- 何より、穏やかに冷静に、  
被接種者や保護者と積極的に  
コミュニケーションをとる。



翻訳担当者

岡部 信彦・奥山 舞・多屋 馨子・

中島 一敏・三崎 貴子

<https://apps.who.int/iris/handle/10665/330277>

岡部信彦先生作成資料



# HPVワクチン接種後に報告されている 「多様な症状」について

## ●症状としては、

- ① **知覚**に関する症状（頭や腰、関節等の痛み、感覚が鈍い、しびれる、光に対する過敏など）
- ② **運動**に関する症状（脱力、歩行困難、不随意運動など）
- ③ **自律神経等**に関する症状（倦怠感、めまい、睡眠障害、月経異常など）
- ④ **認知機能**に関する症状（記憶障害、学習意欲の低下、計算障害、集中力の低下など）など様々な症状が報告

（厚生労働省：HPVワクチンに関するQ&Aより引用）

# HPVワクチン接種後に報告されている 「多様な症状」について

- HPVワクチン接種後に、広い範囲に広がる痛みや、手足の動かしにくさ、不随意運動（動かそうと思っていなのに体の一部が勝手に動いてしまうこと）等を中心とする「**多様な症状**」が起きたことが副反応疑い報告により報告されています。
- この症状は、何らかの身体症状はあるものの、画像検査や血液検査を受けた結果、その身体症状に合致する異常所見が見つからない状態である「**機能的な身体症状**」であることが考えられています。

（厚生労働省：HPVワクチンに関するQ&Aより引用）



# 接種後に心配な症状が見られた場合

- 接種後に、健康に異常があるとき
  - まずは、接種を受けた医師・かかりつけの医師に相談  
各都道府県において、「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関」を選定  
協力医療機関の受診については、接種を受けた医師またはかかりつけの医師に相談
- 不安や疑問があるとき、困ったことがあるとき
  - 各都道府県において、衛生部局と教育部局の1箇所ずつ「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に症状が生じた方に対する相談窓口」を設置



# 接種後に心配な症状が見られた場合

- 接種後に、健康に異常があるとき
  - まずは、接種を受けた医師・かかりつけの医師に相談  
各都道府県において、「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関」を選定  
協力医療機関の受診については、接種を受けた医師またはかかりつけの医師に相談
- 不安や疑問があるとき、困ったことがあるとき
  - 各都道府県において、衛生部局と教育部局の1箇所ずつ  
「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に症状が生じた方に対する相談窓口」を設置







# 日本小児科学会の知っておきたいわくちん情報 2022年3月に追加



～日本小児科学会の「知っておきたいわくちん情報」～

## 予防接種ストレス関連反応(ISRR)

予防接種ストレス関連反応について解説します。

A-10

● 図 予防接種ストレス関連反応 (ISRR) の種類と出現時期



これら①～③を **予防接種ストレス関連反応 (ISRR)** と呼びます。



[http://www.jpeds.or.jp/uploads/files/VIS\\_A10\\_ISRR\\_202203.pdf](http://www.jpeds.or.jp/uploads/files/VIS_A10_ISRR_202203.pdf)

# Causality assessment of an adverse event following immunization (AEFI)

User manual for the revised  
WHO classification

Second edition  
2019 update

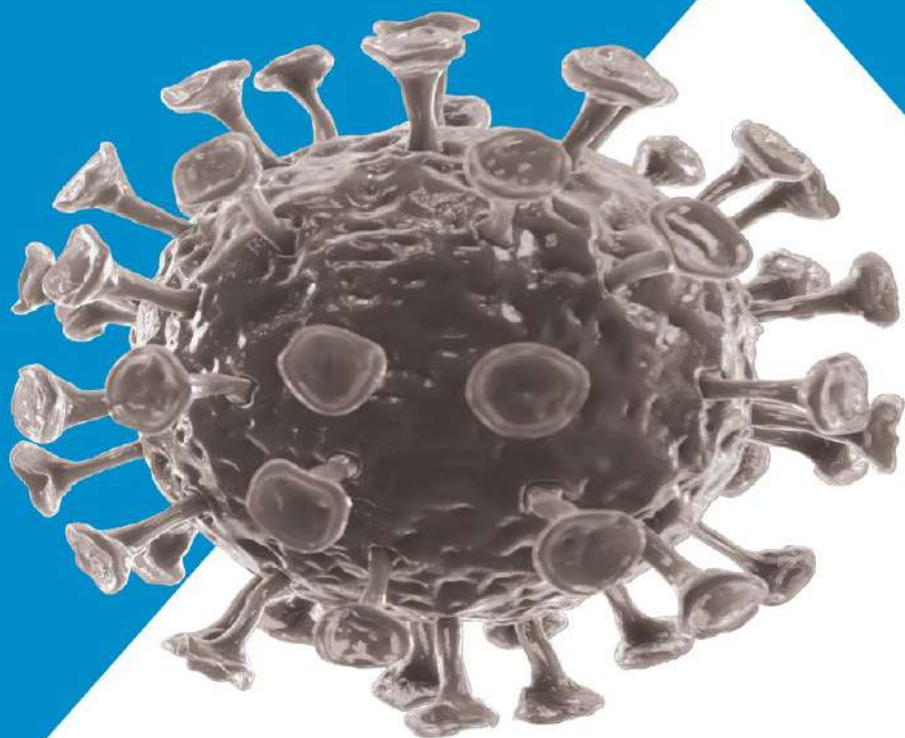
## Contents

Purpose .....	vi
Acknowledgements.....	vii
The 2019 update and what is new .....	viii
Glossary .....	ix
Acronyms.....	xi
<b>I. INTRODUCTION AND RATIONALE</b>	
Adverse events following immunization - Key definitions .....	2
General definition.....	2
Cause-specific definitions.....	2
<b>II. KEY CONSIDERATIONS FOR CAUSALITY ASSESSMENT OF AEFI</b>	
AEFI causality assessment in practice.....	5
<b>III. LEVELS OF CAUSALITY ASSESSMENT AND THEIR SCIENTIFIC BASIS</b>	
1. The population level.....	9
2. The individual level.....	10
3. Investigation of signals .....	11
<b>IV. CASE SELECTION FOR CAUSALITY ASSESSMENT OF AEFI</b>	
Prerequisites for causality assessment.....	15
Who should do causality assessment?.....	16



COVID-19 VACCINES:

# SAFETY SURVEILLANCE MANUAL



SECOND EDITION

## Contents

Acknowledgements .....	iv
Abbreviations and acronyms .....	v
Glossary .....	vii
1. Background .....	xi
2. Lessons learnt from novel vaccine introduction during pandemic and epidemic emergencies .....	xii
3. Objectives of this manual .....	xiii
4. Intended audience .....	xiv
5. Organization of the manual .....	xiv
6. Scope of the manual .....	xiv
6.1. COVID-19 vaccines: description and general safety considerations for implementation .....	1
6.2. Stakeholders in COVID-19 vaccine safety surveillance .....	15
6.3. Establishing surveillance systems in countries using COVID-19 vaccines .....	37
6.4. Monitoring and responding to adverse events following immunization (AEFIs) .....	57
6.5. Monitoring and responding to adverse events of special interest (AESIs) .....	81
6.6. Safety data management systems, methods of post-introduction evaluation and assessing performance in countries using COVID-19 vaccines .....	115
6.7. Engaging with the pharmaceutical industry for COVID-19 vaccine safety surveillance .....	137
6.8. Regulatory reliance and work-sharing .....	151
6.9. COVID-19 vaccine safety communication .....	163
6.10. Safety surveillance of COVID-19 vaccines in pregnant and breastfeeding women .....	215

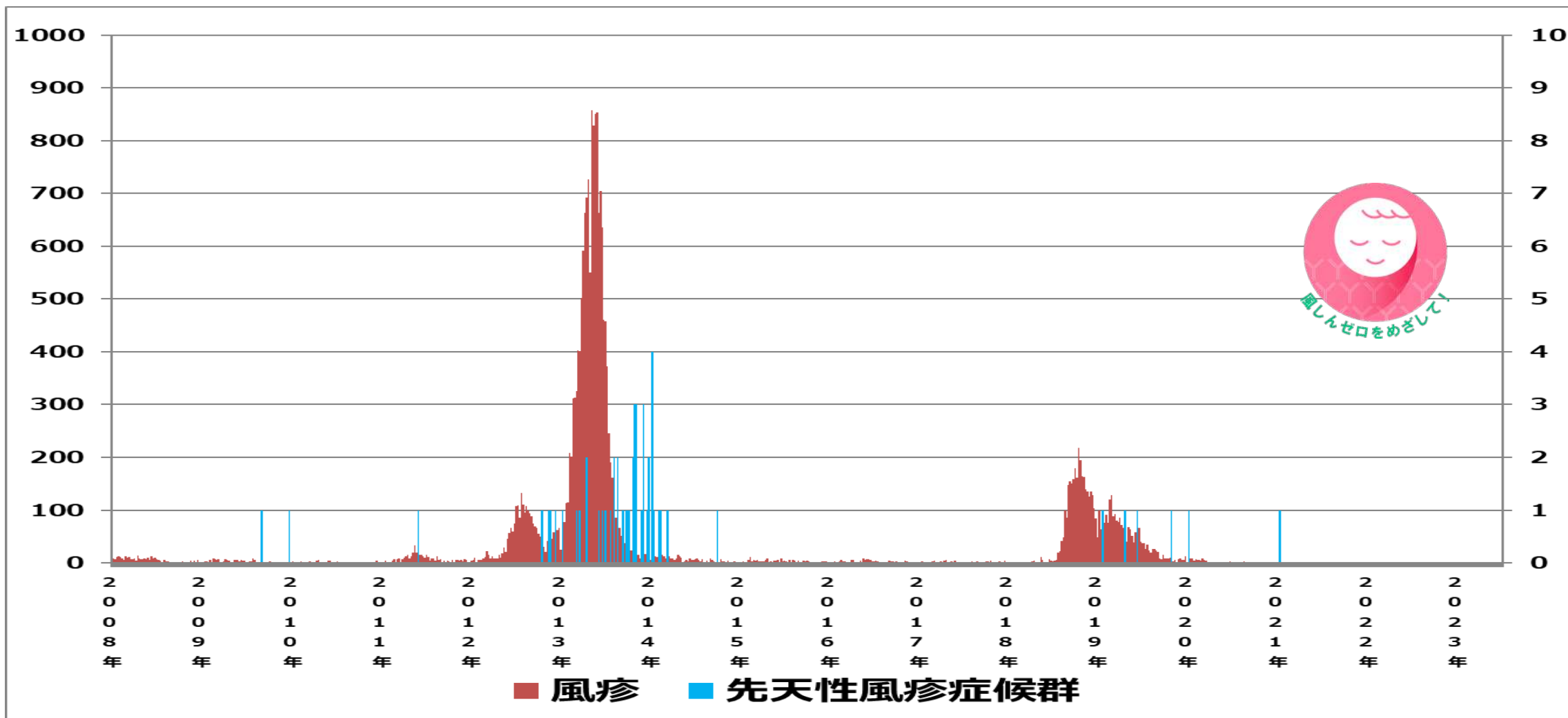
# 今日の内容

- 予防接種の知識
- 予防接種後副反応について
  - 新型コロナワクチン
  - おたふくかぜワクチン
  - Immunization Stress Related Response (ISRR) 予防接種ストレス関連反応
- **風しん第5期定期接種について**

# 週別風疹・先天性風疹症候群届出数 (2008年第1週～2023年第27週：感染症発生動向調査より)

風疹届出数

先天性風疹症候群届出数

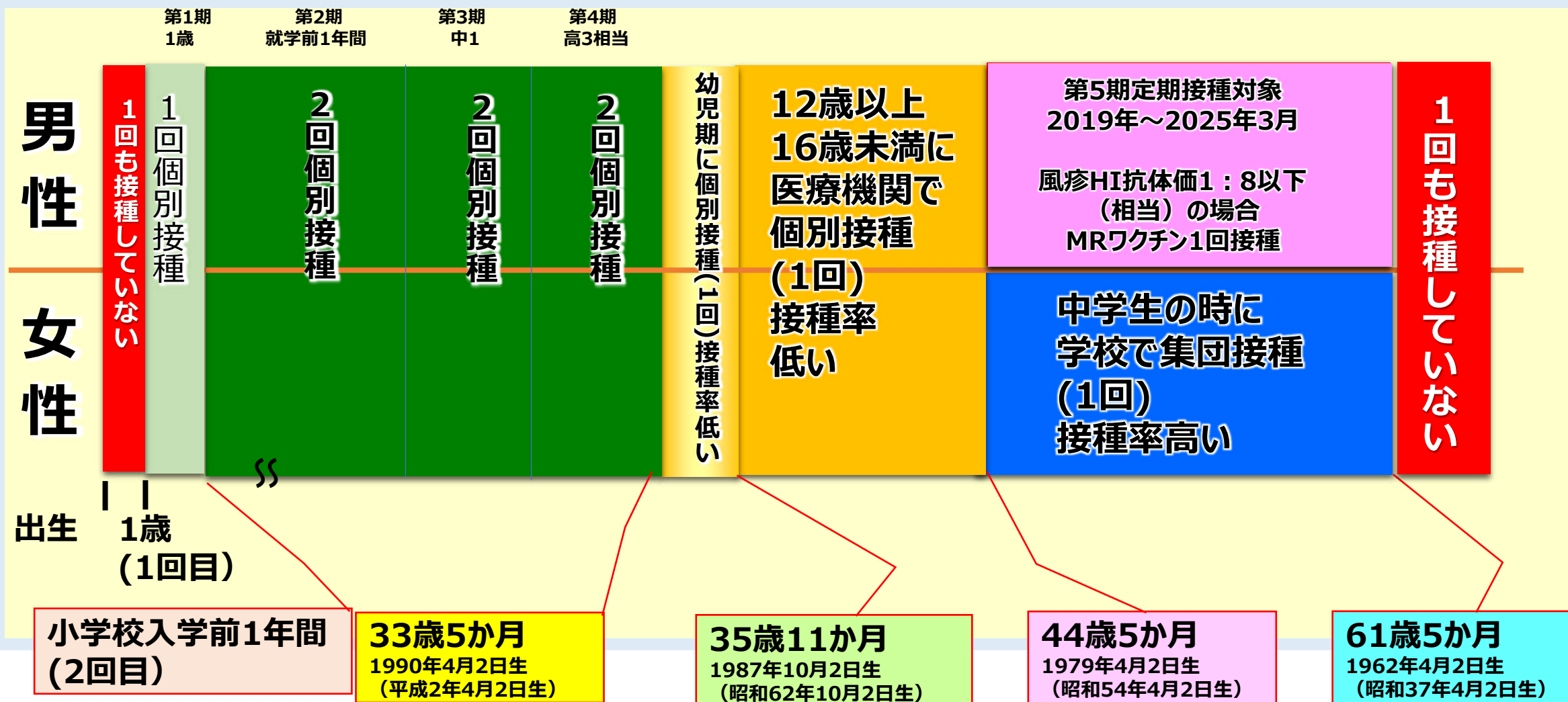


国立感染症研究所HP 感染症発生動向調査より作図

<https://www.niid.go.jp/niid//images/idsc/disease/rubella/2023pdf/rube23-27.pdf>



# 風しん含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係 (2023年9月1日時点)




風しんの流行は、  
突然やってきます。

1976年  
1982年  
1987年  
1992年  
2012年  
2018年  
20??年

次は、今年かもしれません。  
対象者の42歳～59歳の男性に、風しんの抗体検査と  
予防接種のクーポンをお送りしています。  
次の流行を避くさないために、  
そして、あなたと、周りの人の安心のために、  
少しでも早い検査と接種に、ご協力ください！

クーポンが届いたら、  
風しんの抗体検査・予防接種を！

厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare



風しんとは

●風しんは、感染者の咳やくしゃみ、会話などで飛び散るしぶき（飛沫）を吸い込んで感染します。小児は発熱、発疹、首や耳の後のリンパ節が腫れて数日で治ります。まれに高熱や脳炎になって入院することがあります。成人は高熱・発疹の長期化や関節痛など重症化の可能性がります。

先天性風しん症候群とは

●妊娠初期（20週以降）に風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性心疾患・白内障・難聴を特徴とする先天性風しん症候群をもって生まれてくる可能性が高くなります。

対象者は風しんの抗体検査  
及び予防接種が原則無料となります！

●1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性は過去に公的に予防接種が行われていないため、自分が風しんにかかり、家族や周囲の人たちに広げてしまうおそれがあります。

●まずは、風しんへの抵抗力を確認するため、抗体検査を受けましょう。

●1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性にお住まいの市区町村からクーポン券が届きますので、クーポン券に従って抗体検査を受けて下さい。

●なお2021年度までのクーポン券が送付されない・届いていない・紛失した対象者も市区町村に希望すればクーポン券が発行され、抗体検査を受けられます。

クーポンもらったぜ！

厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

クーポン券を使用できる区郡機関のリストなど、詳細はウェブサイトに  
風しん 関連情報





# 風疹予防啓発リーフレット

男性の皆様  
お願いします

2023年度中に44～61歳の誕生日を迎える  
昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの  
男性の皆様、

風しんの抗体を持っていると思込んでいませんか？



子どものいのちを守るために  
風しんの抗体検査を受けましょう。

クーポンが送付された世代の男性には、公的な予防接種は行われていません。  
水ぼうそう・はしかと混同されている場合があります。  
あなたがきっかけで妊娠初期（妊娠20週頃まで）の女性が風しんウイルスに感染すると  
赤ちゃんが心疾患・白内障・難聴をもって生まれる可能性があります。

毎月24日を「風しんの日」にしましょう

厚生労働行政推進調査事業（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）  
「風しん第5期定期接種の対策期間延長における風しん予防接種促進に関する研究」

行動経済学の観点から  
利他的メッセージが  
重要とのこと

神奈川県衛生研究所HPから  
ダウンロード可能です

[https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken/016\\_theme/vaccine/rubella\\_001.pdf](https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken/016_theme/vaccine/rubella_001.pdf)

令和4年度厚生労働行政推進調査事業費補助金  
新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業  
風しん第5期定期接種の対策期間延長における風しん予防接種  
促進に関する研究【研究代表者：多屋馨子】



ご清聴ありがとうございました



サータリ先生に似顔絵を描いていただきました